

議第 1 号

令和 6 年度酒田市一般会計補正予算（第 1 2 号）について

令和 6 年度酒田市一般会計補正予算（1 2 号）について、酒田市長より意見を求められているので、同意するものとする。

令和 7 年 2 月 1 2 日提出

酒田市教育委員会

教育長 赤坂 宜紀

歳入歳出補正

歳 出

(単位：千円)

款 項	目	補正前の額	補正額	計	本年度予算額の財源内訳				
					特定財源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
10	教育費	5,241,611	113,799	5,355,410	17,153	△ 4,466	196,500	△ 883	△ 94,505
	1 教育総務費	1,193,033	△ 82,700	1,110,333	△ 2,790	△ 4,356	△ 8,900	1,437	△ 68,091
	2 事務局費	611,805	△ 39,990	571,815				10	△ 40,000
	3 指導費	292,957	△ 17,909	275,048		△ 2,247		△ 39	△ 15,623
	4 学事費	282,980	△ 24,801	258,179	△ 2,790	△ 2,109	△ 8,900	1,466	△ 12,468
	2 小学校費	1,340,117	132,599	1,472,716	11,750	0	130,200	△ 250	△ 9,101
	2 教育振興費	125,206	△ 6,284	118,922	△ 487				△ 5,797
	3 学校保健費	730,993	△ 2,139	728,854				△ 250	△ 1,889
	4 学校建設費	23,878	141,022	164,900	12,237		130,200		△ 1,415
	3 中学校費	811,273	72,662	883,935	8,193	△ 110	76,400	△ 2,070	△ 9,751
	2 教育振興費	70,350	△ 9,221	61,129	△ 912	△ 110		△ 1,800	△ 6,399
	3 学校保健費	470,192	△ 2,993	467,199				△ 270	△ 2,723
	4 学校建設費	79,033	84,876	163,909	9,105		76,400		△ 629
	4 生涯学習費	531,722	△ 4,827	526,895	0	0	0	0	△ 4,827
	1 生涯学習振興費	224,142	△ 1,645	222,497					△ 1,645
	2 図書館費	307,580	△ 3,182	304,398					△ 3,182
	5 保健体育費	1,365,466	△ 3,935	1,361,531	0	0	△ 1,200	0	△ 2,735
	1 スポーツ振興費	1,365,466	△ 3,935	1,361,531			△ 1,200		△ 2,735

繰越明許費補正

(変更)

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
10. 教育費	2. 小学校費	学校空調設備整備事業	146,412
	3. 中学校費	学校空調設備整備事業	87,276

債務負担行為補正

(追加)

(単位：千円)

事項	期間	限度額
体育施設管理事業修繕料	令和6年度から令和7年度まで	3,333

令和 6 年度酒田市一般会計補正予算 (第 1 2 号) の概要
(教育委員会関連分)

1	補正予算規模	113,799 千円
2	補正後の予算規模	5,355,410 千円
3	補正項目及び補正額 (歳出補正 主な事業)	
	<企画管理課>	
①	共同調理場管理運営事業	△1,100 千円
	決算見込みによる減額 (燃料費及び光熱水費△1,100 千円)	
	[現計 12,972 千円+補正額△1,100 千円=補正後 11,872 千円]	
②	学校施設長寿命化事業 (小学校)	△3,520 千円
	決算見込みによる減額 (委託料△3,520 千円)	
	[現計 14,322 千円+補正額△3,520 千円=補正後 10,802 千円]	
③	学校空調設備整備事業 (小学校)	144,542 千円
	国の補正予算に伴う小学校の特別教室及び管理署室へのエアコン更新に係る経費の計上と決算見込みによる減額 (需用費 120 千円、委託料△1,870 千円、工事請負費 146,292 千円)	
	[現計 9,556 千円+補正額 144,542 千円=補正後 154,098 千円]	
④	中学校給食事業	△2,000 千円
	決算見込みによる減額 (需用費△2,000 千円)	
	[現計 452,925 千円+補正額△2,000 千円=補正後 450,925 千円]	
⑤	学校空調設備整備事業 (中学校)	84,876 千円
	国の補正予算に伴う中学校の特別教室及び管理署室へのエアコン更新に係る経費の計上と決算見込みによる減額 (需用費 90 千円、委託料△2,400 千円、工事請負費 87,186 千円)	
	[現計 57,330 千円+補正額 84,876 千円=補正後 142,206 千円]	
	<学校教育課>	
①	外国語指導助手招致事業	△3,867 千円
	決算見込みによる減額 (旅費△3,457 千円、役務費△260 千円、借上料△150 千円)	
	[現計 8,431 千円+補正額△3,867 千円=補正後 4,564 千円]	
②	教育 D X 推進事業	△8,302 千円
	決算見込みによる減額 (使用料△3,000 千円、備品購入費△5,302 千円)	
	[現計 105,400 千円+補正額△8,302 千円=補正後 97,098 千円]	
③	スポーツ・文化活動支援事業	△1,534 千円
	決算見込みによる減額 (負担金△92 千円、補助金△1,442 千円)	
	[現計 8,838 千円+補正額△1,534 千円=補正後 7,304 千円]	

- ④ 部活動改革体制整備事業 △2,092 千円
 決算見込みによる減額（旅費△57 千円、食糧費△30 千円、需用費△221 千円、役
 務費△52 千円、委託料△1,732 千円）
 [現計 9,120 千円＋補正額△2,092 千円＝補正後 7,028 千円]
- ⑤ 自然体験学習事業 △1,293 千円
 決算見込みによる減額（報償金△237 千円、費用弁償△25 千円、旅費△60 千円、保険
 料△23 千円、委託料△532 千円、負担金△416 千円）
 [現計 3,747 千円＋補正額△1,293 千円＝補正後 2,454 千円]
- ⑥ 学事運営事業 1,800 千円
 企業からの寄附金の教育振興基金への積立（積立金 1,800 千円）
 [現計 511 千円＋補正額 1,800 千円＝補正後 2,311 千円]
- ⑦ 通学・校外学習等対策事業 △16,140 千円
 決算見込みによる減額及び調整（修繕料 7,001 千円、需用費△500 千円、委託料△
 23,000 千円、借上料 337 千円、自動車重量税 22 千円）
 [現計 237,148 千円＋補正額△16,140 千円＝補正後 221,008 千円]
- ⑧ 学習バス・スクールバス整備事業 △10,461 千円
 決算見込みによる減額（備品購入費△10,461 千円）
 [現計 45,321 千円＋補正額△10,461 千円＝補正後 34,860 千円]
- ⑨ 教師用教科書・指導書購入事業（小） △5,309 千円
 決算見込みによる減額（需用費△5,309 千円）
 [現計 52,236 千円＋補正額△5,309 千円＝補正後 46,927 千円]
- ⑩ 小学校保健管理事業 △1,039 千円
 決算見込みによる減額（委託料△144 千円、借上料△549 千円、負担金△96 千円、災
 害見舞金△250 千円）
 [現計 45,474 千円＋補正額△1,039 千円＝補正後 44,435 千円]
- ⑪ 中学校教材等充実事業 △1,800 千円
 決算見込みによる減額（備品購入費△1,800 千円）
 [現計 34,032 千円＋補正額△1,800 千円＝補正後 32,232 千円]
- ⑫ 特別支援教育就学奨励事業（中） △1,828 千円
 決算見込みによる減額（扶助費△1,828 千円）
 [現計 4,282 千円＋補正額△1,828 千円＝補正後 2,454 千円]
- ⑬ 要保護及び準要保護生徒援助事業 △4,806 千円
 決算見込みによる減額（扶助費△4,806 千円）
 [現計 30,188 千円＋補正額△4,806 千円＝補正後 25,382 千円]

<社会教育課>

- ① 生涯学習施設管理運営事業 △1,645 千円
 決算見込みによる減額（燃料費及び光熱水費△1,000 千円、委託料△553 千円、備
 品購入費△92 千円）
 [現計 157,207 千円＋補正額△1,645 千円＝補正後 155,562 千円]

② ミライニ管理運営事業 △3,182 千円

決算見込みによる減額（修繕料△155 千円、燃料費及び光熱水費△3,000 千円、保険料△18 千円、自動車重量税△9 千円）

〔現計 307,580 千円＋補正額△3,182 千円＝補正後 304,398 千円〕

<スポーツ振興課>

① 八幡体育館改築事業 △1,661 千円

決算見込みによる減額（委託料△1,661 千円）

〔現計 517,139 千円＋補正額△1,661 千円＝補正後 515,478 千円〕

② 光ヶ丘野球場改修事業 △1,639 千円

決算見込みによる減額（委託料△1,639 千円）

〔現計 40,467 千円＋補正額△1,639 千円＝補正後 38,828 千円〕

(歳入補正 主なもの)

① 国庫補助金 17,153 千円

学校施設環境改善交付金（小）12,237 千円、学校施設環境改善交付金（中）9,105 千円、へき地児童生徒援助費等補助金△2,790 千円、特別支援教育就学奨励費補助金（小）△487 千円、特別支援教育就学奨励費補助金（中）△912 千円

〔現計 85,619 千円＋補正額 17,153 千円＝補正後 102,772 千円〕

② 県補助金 △2,366 千円

被災児童生徒就学支援等事業費補助金△110 千円、市町村総合交付金（青少年健全育成推進員設置事業）△10 千円、市町村郷土愛醸成等事業費補助金△137 千円、児童生徒安全対策事業費補助金△2,109 千円

〔現計 5,866 千円＋補正額△2,366 千円＝補正後 3,500 千円〕

③ 県委託金 △2,100 千円

地域クラブ活動体制整備事業（実践研究種別）委託金△2,100 千円

〔現計 9,162 千円＋補正額△2,100 千円＝補正後 7,062 千円〕

④ 市債 196,500 千円

以下は充当事業別教育債補正額

学校施設長寿命化事業（小学校）△2,600 千円、学校空調設備整備事業（小学校）132,800 千円、学校空調設備整備事業（中学校）76,400 千円、学習バス・スクールバス整備事業△8,900 千円、光ヶ丘野球場改修事業△1,200 千円

〔現計 1,001,100 千円＋補正額 196,500 千円＝補正後 1,197,600 千円〕

議第2号

物品の取得について（校務用パソコン）

本教育委員会は、下記の物品を取得するにあたり、酒田市長より意見を求められているので同意するものとする。

令和7年2月12日提出

酒田市教育委員会
教育長 赤坂 宜紀

記

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 取得の目的 | 校務用パソコンの購入 |
| 2 | 取得物品 | 校務用パソコン 371台 |
| 3 | 取得の方法 | 条件付き一般競争入札による取得 |
| 4 | 取得の金額 | 5,795万200円 |
| 5 | 契約の相手方 | 酒田市京田二丁目69番8号
株式会社管理システム
代表取締役 今野 修 |

様式第1号

仮 契 約 書

- 1 契約の目的 校務用PCの購入【債務負担行為】
- 2 数量 校務用PC 371台
- 3 契約金額 57,950,200円
内訳 売買代金 52,682,000円
取引に係る消費税額及び地方消費税額 5,268,200円
- 4 納入期限 令和7年9月30日

上記について、酒田市長 矢口 明子 と 株式会社 管理システム 代表取締役 今野 修 は、地方自治法第96条第1項第8号及び酒田市契約及び財産に関する条例第3条の規定に基づく酒田市議会の議決（可決）があった後に、正規の契約を締結するものとする。

上記仮契約の証として本書1通を作成し双方記名押印の上、これを株式会社 管理システム 代表取締役 今野 修 が保有する。

令和7年1月23日

発注者 所在地 酒田市本町二丁目2番45号
氏名 酒田市長 矢口 明子

受注者 住所又は所在地 酒田市京田二丁目69番8号
氏名又は名称 株式会社 管理システム
代表者氏名 代表取締役 今野 修

議第3号

物品の取得について（教師用指導書（小学校及び中学校））

本教育委員会は、下記の物品を取得するにあたり、酒田市長より意見を求められているので同意するものとする。

令和7年2月12日提出

酒田市教育委員会
教育長 赤坂 宜紀

記

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 取得の目的 | 教師用指導書（小学校及び中学校）の購入 |
| 2 | 取得物品 | 教師用指導書（小学校及び中学校） 991冊予定 |
| 3 | 取得の方法 | 随意契約による取得 |
| 4 | 取得予定総額 | 3,698万円（単価契約） |
| 5 | 取得の相手方 | 酒田市みずほ二丁目19番地の10
株式会社八文字屋みずほ八文字屋
店長 高橋和美 |

仮 契 約 書

- 1 契約の目的 教師用指導書の購入【単価契約】【債務負担行為】
- 2 予定数量 991冊
- 3 契約金額 単価契約（予定総額 36,980,000円）
- 4 履行期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

上記について、酒田市長 矢口 明子 と株式会社八文字屋みずほ八文字屋
店長 高橋 和美 は、地方自治法第96条第1項8号及び酒田市契約及び財
産に関する条例第3条の規定に基づく酒田市議会の議決（可決）があった後
に、正規の契約を締結するものとする。

上記仮契約の証として本書1通を作成し双方記名押印の上、これを株式会社
八文字屋みずほ八文字屋 店長 高橋 和美 が保有する。

令和7年2月3日

発注者 所在地	酒田市本町二丁目2番45号
氏名	酒田市長 矢口 明子
受注者 住所又は所在地	酒田市みずほ二丁目19番地の10
氏名	株式会社八文字屋みずほ八文字屋
代表者名	店長 高橋 和美

議第 4 号

請負契約の締結について

八幡体育館改築工事（建築工事）の請負契約の締結について、酒田市長より意見を求められているので同意するものとする。

令和 7 年 2 月 1 2 日提出

酒田市教育委員会
教育長 赤坂 宜紀

記

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 契約の目的 | 八幡体育館改築工事（建築工事） |
| 2 | 契約の方法 | 条件付き一般競争入札（総合評価落札方式）による契約 |
| 3 | 契約の金額 | 6億4,130万円 |
| 4 | 契約の相手方 | 酒田市幸町一丁目6番6号
林・菅原特定建設工事共同企業体
代表者 林建設工業株式会社
代表取締役社長 林 浩一郎 |
| 5 | 工 期 | 契約締結の日から令和8年3月25日まで |

様式第 1 号

仮 契 約 書

- 1 契約の目的 八幡体育館改築工事 (建築工事)
- 2 契約金額 641,300,000 円
- | | | |
|----|------------------|---------------|
| 内訳 | 工事代金 | 583,000,000 円 |
| | 取引に係る消費税額及び地方消費税 | 58,300,000 円 |
- 3 履行期限 令和 8 年 3 月 2 5 日

上記について、酒田市長 矢口 明子と林・菅原特定建設工事共同企業体 代表者 林建設工業株式会社 代表取締役社長 林 浩一郎は、地方自治法第 9 6 条第 1 項第 5 号及び酒田市契約及び財産に関する条例第 2 条の規定に基づく酒田市議会の議決 (可決) があつた後に、正規の契約を締結するものとする。

上記仮契約の証として本書 1 通を作成し、双方記名押印の上、これを林・菅原特定建設工事共同企業体 代表者 林建設工業株式会社 代表取締役社長 林 浩一郎が保有する。

令和 7 年 2 月 6 日

発注者 所在地 酒田市本町二丁目 2 番 4 5 号
氏 名 酒田市長 矢口 明子

受注者 林・菅原特定建設工事共同企業体
代表者 住所又は所在地 酒田市幸町一丁目 6 番 6 号
氏名又は名称 林建設工業株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 林 浩一郎
構成員 住所又は所在地 酒田市東栄町 1 2 番 4 4 号
氏名又は名称 株式会社菅原工務所
代表者氏名 代表取締役 菅原 脩太

入 札 調 書

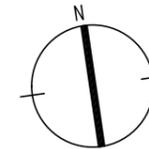
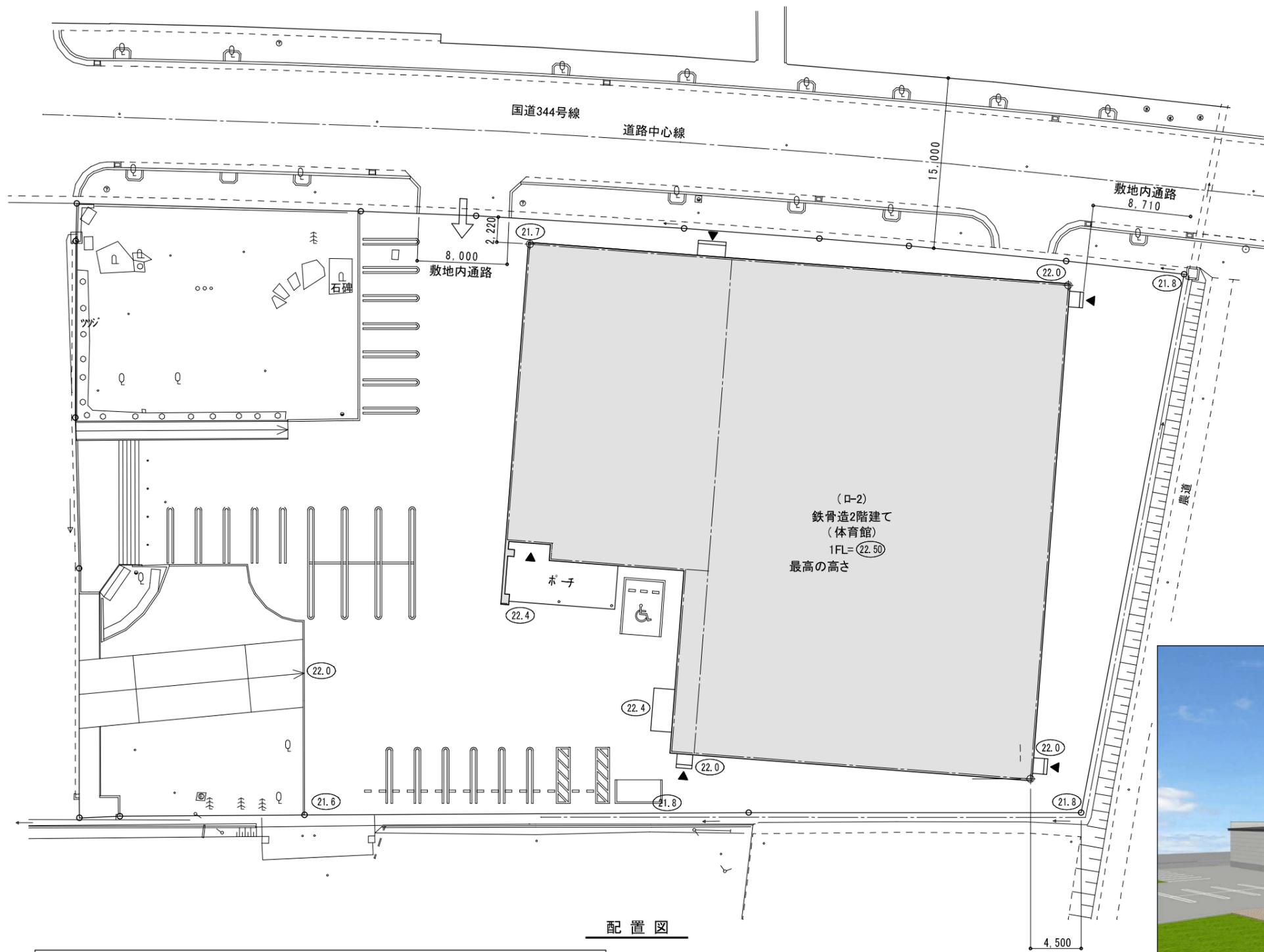
工 事 名	八幡体育館改築工事 (建築工事)	予 定 価 格	590,980,000 円
工 事 場 所	酒田市観音寺字町後15番地	調 査 基 準 価 格	円
入 札 年 月 日	令和 7 年 2 月 4 日 (火)	基 準 評 価 値 (標準点/予定価格 × 1 百万円)	0.169

執 行 者 課 長 佐々木 豪 入 札 立 会 者 課 長 補 佐 奥山 慎二

番号	入 札 者	標準点 (a) 点	加 算 点				品質等 確実点 (c) 点	技術点 (a+b+c) (A) 点	入札価格 (B) 円	予定 価格 ≥ 入札 価格	入札 価格 ≥ 調査 基準 価格	評 価 値 (A)/(B) 又は 調査 基準価格 × 1 百万円	評 価 値 ≥ 基 準 評 価 値	順位	落札者	技術 資料 審査
			企業の 能力	技術者 の能力	地域貢 献度	計 (b) 点										
1	大井・大場特定建設工 事共同企業体	100	3	2	6	11	8	119	588,000,000	○	○	0.202	○	4		
2	林・菅原特定建設工 事共同企業体	100	4	4	5.5	13.5	8	121.5	583,000,000	○	○	0.208	○	1	○	○
3	丸高・酒井鈴木工業特 定建設工事共同企業体	100	3	2	6	11	8	119	585,000,000	○	○	0.203	○	3		
4	みなと・斉藤工業所・ 阿部建設特定建設工事 共同企業体	100	5	4	5	14	8	122	588,000,000	○	○	0.207	○	2		
本件は酒田市議会の議決（可決）があった後に、正規の契約を締結するものです。																

(注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税額を加算した額とする。(円未満切捨て)
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。
 4 本案件は、総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式です。このため、「技術資料審査」欄の表記内容は右の表のとおりです。

表記	技術資料審査
○	審査の結果加算点に修正なし
×	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正
空欄	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出

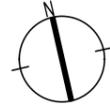


パース

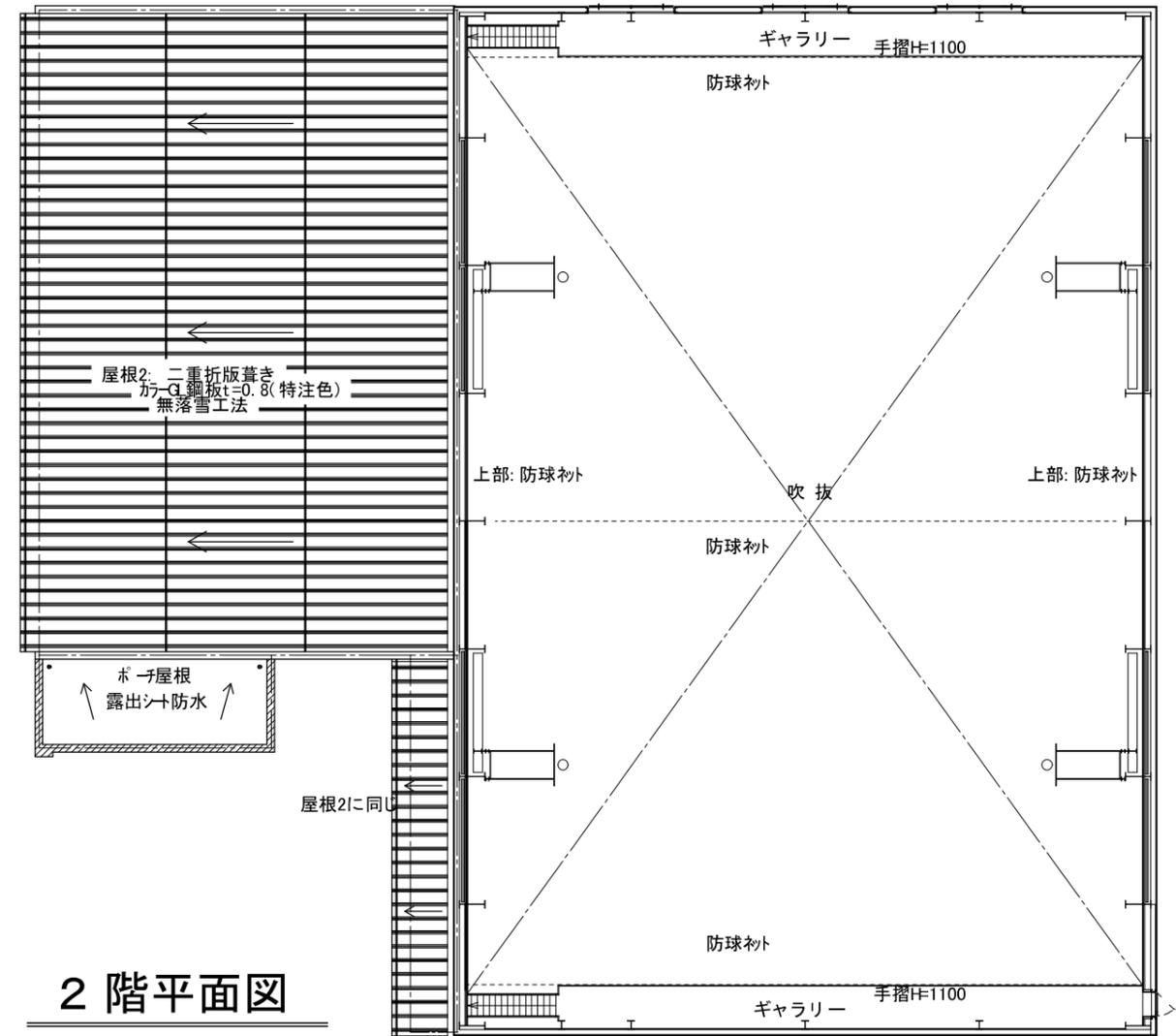
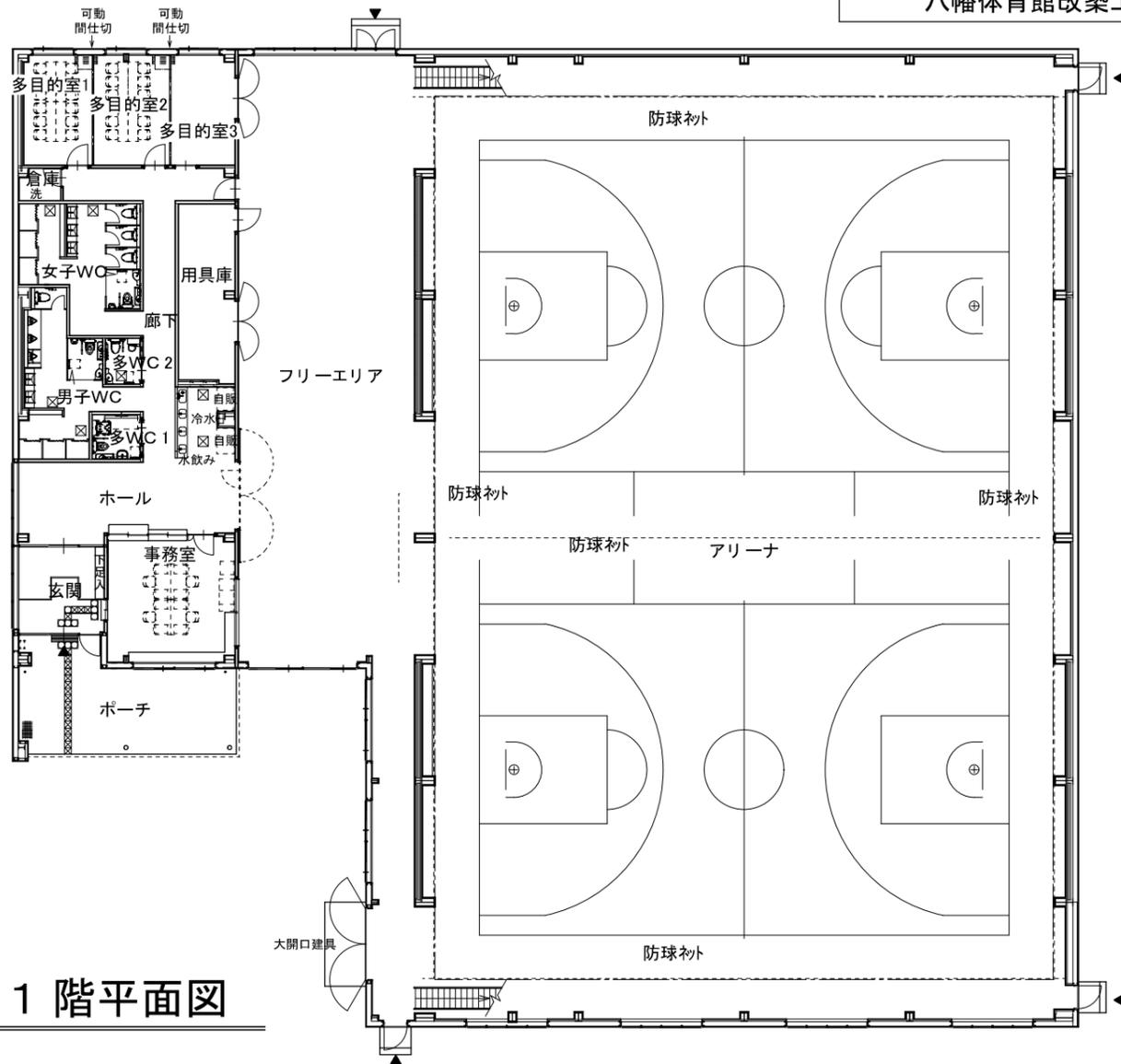
設計概要

鉄骨造2階建て 延べ床面積1,956.63㎡の新築工事
建屋の建築工事一式

八幡体育館改築工事(建築工事)



八幡体育館改築工事(建築工事)



施設概要		
■鉄骨造2階建て 1F: 1,847㎡ 2F: 1,110㎡	■トイレ 男子(大便器ブース2・小便器3・着替えブース3) 女子(便器ブース4・着替えブース3) ※男女トイレとも車イス利用可能(各1ブース) パウダースペース有	■アリーナ(仮称): 40m×28m 想定競技: バスケットボール2面・バレーボール2面 フットサル1面・バドミントン6面 ソフトテニス1面・卓球25面
■天井高(中央部) 梁下: 9.0m	多機能①(大便器・車イス対応・おむつ替え・介助ベッド) 多機能②(大便器・車イス対応・オストメイト)	■フリーエリア(仮称): 27m×8m モルック、ポッチャ、ダンス、ヨガ、武道練習 選手待機・ウォーミングアップなど 様々な利用ができるスペース
■収容人数 2階ギャラリー: 約120人可	※多機能トイレは男女共用、着替え台付	
■無落雪屋根採用	■駐車場 普通車23台(小型バス3台可)+おもいやり区画2台 +車イス区画1台、駐輪スペース有	
■会議室 多目的室(3分割可動間仕切り)		
■水飲み場 冷水機1台、直飲み水栓3個、給湯水栓1個		
■空調 全室冷暖房(個別空調)		
■照明 LED器具(廊下・トイレは人感センサー)		
■車両乗入大開口建具(アリーナ)		

議第 5 号

令和 7 年度酒田市一般会計予算について

令和 7 年度酒田市一般会計予算について、酒田市長より意見を求められているので、同意するものとする。

令和 7 年 2 月 1 2 日提出

酒田市教育委員会

教育長 赤坂 宜紀

令和7年度酒田市一般会計予算（10款）

歳入歳出予算

歳出

（単位：千円）

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率 （%）	本年度予算額の財源内訳				
							特定財源				一般財源
							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
10		教育費	5,982,664	5,445,802	536,862	9.9	349,849	22,718	1,346,400	948,515	3,315,182
	1	教育総務費	1,344,100	1,193,284	150,816	12.6	23,458	20,875	37,500	27,767	1,234,500
		1 教育委員会費	5,235	5,291	△ 56	△ 1.1					5,235
		2 事務局費	623,472	621,856	1,616	0.3		42		526	622,904
		3 指導費	404,400	283,157	121,243	42.8	15,658	20,833		27,146	340,763
		4 学事費	310,993	282,980	28,013	9.9	7,800		37,500	95	265,598
	2	小学校費	1,483,759	1,533,435	△ 49,676	△ 3.2	89,079	1,099	330,700	242,900	819,981
		1 学校管理費	482,779	513,387	△ 30,608	△ 6.0		210	62,200	377	419,992
		2 教育振興費	87,120	125,041	△ 37,921	△ 30.3	2,285			1	84,834
		3 学校保健費	623,748	730,993	△ 107,245	△ 14.7	67,993	889	58,600	242,522	253,744
		4 学校建設費	290,112	164,014	126,098	76.9	18,801		209,900		61,411
	3	中学校費	772,565	844,924	△ 72,359	△ 8.6	27,662	540	42,100	152,986	549,277
		1 学校管理費	182,481	188,381	△ 5,900	△ 3.1		70	19,900	179	162,332
		2 教育振興費	91,348	68,550	22,798	33.3	1,944			1,801	87,603
		3 学校保健費	469,021	470,192	△ 1,171	△ 0.2	25,718	470		151,006	291,827
		4 学校建設費	29,715	117,801	△ 88,086	△ 74.8			22,200		7,515
	4	生涯学習費	525,467	529,233	△ 3,766	△ 0.7	0	204	0	227,558	297,705
		1 生涯学習振興費	215,379	221,653	△ 6,274	△ 2.8		204		12,892	202,283
		2 図書館費	310,088	307,580	2,508	0.8				214,666	95,422
	5	保健体育費	1,856,773	1,344,926	511,847	38.1	209,650	0	936,100	297,304	413,719
		1 スポーツ振興費	1,856,773	1,344,926	511,847	38.1	209,650		936,100	297,304	413,719

継続費

款	項	事業名	総額	年度	年割額
10. 教育費	5. 保健体育費	体育施設整備事業費	54,725千円	令和7年度	21,890千円
				令和8年度	32,835千円
		八幡体育館改築事業費 (外溝整備)	76,329千円	令和7年度	30,532千円
				令和8年度	45,797千円
		テニスコート改修事業費	123,263千円	令和7年度	73,958千円
				令和8年度	49,305千円

債務負担行為

事項	期間	限度額
学校給食調理業務委託料（琢成小学校ほか6校）	令和7年度から令和10年度まで	296,664千円

令和 7 年度
酒田市一般会計予算資料 (案)
(教育委員会分抜粋)

<第1表> 会計別予算総計表

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	当初予算額	当初予算額	対前年度		当初予算額	対前年度		当初予算額	対前年度	
			増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率
1. 一般会計	55,810,000	55,200,000	△610,000	△1.1	56,250,000	1,050,000	1.9	61,700,000	5,450,000	9.7
2. 定期航路事業特別会計	308,839	301,481	△7,358	△2.4	475,105	173,624	57.6	302,023	△173,082	△36.4
3. 国民健康保険特別会計	10,614,431	10,312,249	△302,182	△2.8	10,123,240	△189,009	△1.8	10,048,630	△74,610	△0.7
4. 後期高齢者医療事業特別会計	1,447,484	1,500,600	53,116	3.7	1,784,378	283,778	18.9	1,748,379	△35,999	△2.0
5. 介護保険特別会計	13,606,668	13,178,006	△428,662	△3.2	13,343,197	165,191	1.3	13,321,738	△21,459	△0.2
6. 風力発電事業特別会計	435,308	447,306	11,998	2.8	433,597	△13,709	△3.1	412,253	△21,344	△4.9
7. 駐車場事業特別会計	167,236	24,971	△142,265	△85.1	24,902	△69	△0.3	25,201	299	1.2
合 計	82,389,966	80,964,613	△1,425,353	△1.7	82,434,419	1,469,806	1.8	87,558,224	5,123,805	6.2

8. 水道事業会計	収益の収入	2,713,737	2,747,016	33,279	1.2	2,743,722	△3,294	△0.1	2,722,127	△21,595	△0.8
	収益の支出	2,574,985	2,664,095	89,110	3.5	2,664,740	645		2,680,514	15,774	0.6
	資本の収入	48,707	159,608	110,901	227.7	90,938	△68,670	△43.0	526,621	435,683	479.1
	資本の支出	1,214,269	1,304,012	89,743	7.4	1,415,507	111,495	8.6	1,678,547	263,040	18.6
9. 下水道事業会計	収益の収入	4,663,195	4,624,971	△38,224	△0.8	4,598,338	△26,633	△0.6	4,546,645	△51,693	△1.1
	収益の支出	4,648,548	4,612,113	△36,435	△0.8	4,582,251	△29,862	△0.6	4,540,102	△42,149	△0.9
	資本の収入	407,885	616,269	208,384	51.1	1,124,291	508,022	82.4	1,279,865	155,574	13.8
	資本の支出	2,647,192	2,807,764	160,572	6.1	3,194,210	386,446	13.8	3,345,284	151,074	4.7

<第2表> 一般会計款別予算一覧表【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	当初予算額	当初予算額	構成比	対前年度 増減率	当初予算額	構成比	対前年度 増減率	当初予算額	構成比	対前年度 増減率
1. 市税	13,042,467	13,421,515	24.3	2.9	13,014,023	23.1	△3.0	13,423,060	21.8	3.1
2. 地方譲与税	467,912	448,322	0.8	△4.2	486,808	0.9	8.6	487,664	0.8	0.2
3. 利子割交付金	8,100	3,800		△53.1	3,000		△21.1	4,800		60.0
4. 配当割交付金	24,700	28,000	0.1	13.4	36,300	0.1	29.6	36,800	0.1	1.4
5. 株式等譲渡所得割交付金	20,000	20,000			20,000			20,000		
6. 法人事業税交付金	163,000	178,300	0.3	9.4	177,400	0.3	△0.5	177,400	0.3	
7. 地方消費税交付金	2,430,200	2,581,300	4.7	6.2	2,424,000	4.3	△6.1	2,549,470	4.1	5.2
8. ゴルフ場利用税交付金	5,500	5,600		1.8	5,600			5,500		△1.8
9. 環境性能割交付金	36,500	38,500	0.1	5.5	52,800	0.1	37.1	50,600	0.1	△4.2
10. 地方特例交付金	73,687	79,738	0.2	8.2	474,629	0.8	495.2	78,317	0.1	△83.5
11. 地方交付税	14,590,000	14,581,000	26.4	△0.1	14,894,702	26.5	2.2	14,660,000	23.8	△1.6
12. 交通安全対策特別交付金	16,752	16,860		0.6	15,012		△11.0	15,012		
13. 分担金及び負担金	164,544	150,515	0.3	△8.5	137,628	0.3	△8.6	102,216	0.2	△25.7
14. 使用料及び手数料	448,283	411,776	0.8	△8.1	406,790	0.7	△1.2	415,526	0.7	2.1
15. 国庫支出金	6,275,555	7,040,927	12.8	12.2	6,130,092	10.9	△12.9	8,132,322	13.2	32.7
16. 県支出金	3,978,394	3,698,266	6.7	△7.0	3,830,420	6.8	3.6	5,716,279	9.3	49.2
17. 財産収入	106,134	106,461	0.2	0.3	82,470	0.2	△22.5	93,613	0.1	13.5
18. 寄附金	3,003,010	3,043,248	5.5	1.3	4,050,407	7.2	33.1	3,532,108	5.7	△12.8
19. 繰入金	2,563,645	2,341,296	4.2	△8.7	3,049,154	5.4	30.2	3,548,493	5.7	16.4
20. 繰越金	400,000	400,000	0.7		300,000	0.5	△25.0	300,000	0.5	
21. 諸収入	3,522,917	3,383,676	6.1	△4.0	3,200,865	5.7	△5.4	3,100,720	5.0	△3.1
22. 市債	4,468,700	3,220,900	5.8	△27.9	3,457,900	6.2	7.4	5,250,100	8.5	51.8
合 計	55,810,000	55,200,000	100.0	△1.1	56,250,000	100.0	1.9	61,700,000	100.0	9.7

<第3表> 一般会計款別予算一覧表【歳出】

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	当初予算額	当初予算額	構成比	対前年度 増減率	当初予算額	構成比	対前年度 増減率	当初予算額	構成比	対前年度 増減率
1. 議会費	336,103	317,103	0.6	△5.7	323,473	0.6	2.0	319,820	0.5	△1.1
2. 総務費	8,592,562	9,211,522	16.7	7.2	10,744,849	19.1	16.6	10,374,237	16.8	△3.4
3. 民生費	16,082,297	16,059,722	29.1	△0.1	16,082,049	28.6	0.1	17,314,084	28.1	7.7
4. 衛生費	4,221,424	4,187,288	7.6	△0.8	4,172,192	7.4	△0.4	5,214,869	8.5	25.0
5. 労働費	104,126	73,976	0.1	△29.0	98,318	0.2	32.9	91,388	0.1	△7.0
6. 農林水産業費	2,832,492	2,510,632	4.5	△11.4	2,731,513	4.9	8.8	3,057,360	5.0	11.9
7. 商工費	4,098,745	2,946,837	5.3	△28.1	2,809,756	5.0	△4.7	2,850,865	4.6	1.5
8. 土木費	4,647,324	4,687,853	8.5	0.9	5,125,224	9.1	9.3	5,428,521	8.8	5.9
9. 消防費	1,679,181	1,718,551	3.1	2.3	1,812,390	3.2	5.5	1,999,225	3.2	10.3
10. 教育費	5,601,447	5,808,983	10.5	3.7	5,445,802	9.7	△6.3	5,982,664	9.7	9.9
11. 災害復旧費	3,000	1,500		△50.0	1,500			2,790,448	4.5	185,929.9
12. 公債費	7,581,299	7,646,033	13.9	0.9	6,872,934	12.2	△10.1	6,226,519	10.1	△9.4
13. 予備費	30,000	30,000	0.1		30,000			50,000	0.1	66.7
合 計	55,810,000	55,200,000	100.0	△1.1	56,250,000	100.0	1.9	61,700,000	100.0	9.7



総合計画抜粋					令和5年度の事業実施に対する外部評価				
I 学級・学校づくりを通じて、自分の存在や生き方を大切にしながら、多様性や個性を受け入れ、他者の生命や生き方を尊重する気持ちを育みます。					I 自尊感情自己有用感を育む教育の推進について、話し合いや他者の意見に対して肯定的な回答が全国平均より多いというのは、話し合い活動の取り組みの成果で、多様性や個性の違いを受け入れることに繋がっていくと思われ評価できる。またWEBQUの取り組みは継続し、生徒把握や学級運営に活かしてほしいが、結果に対してどのように取り組むかが大事になるので、その研修を引き続き継続してほしい。				
①	いじめの未然防止、早期発見・早期対応のための組織的な対応の強化				I 全国学力学習状況調査の結果では学級会で話し合って解決方法を決めていると答える児童生徒が全国より10%程高いと現状評価にはあり、話し合い活動で自分たちの課題解決をする取り組みが行われていることは評価できる。ただWEBQUアンケートからは学級満足群の割合が減少し、不満足群の割合が高くなっているのはなぜか。話し合い活動の内容がどうなっているのか、見直してみる必要がある。いじめの認知件数に対する解消の割合が増加しているのは評価できる。いじめのとらえ方として、いじめを人間関係の軋轢ととらえるならば、成長の過程で必ず起きることと考えた方がいい。いじめが起きないように指導していくというよりは、問題が小さいうちに見つけ出し、何が問題なのか、どうしたらいいのかが、その解決方法を考えさせる指導が大事だと思う。				
②	ジェンダー平等、LGBTQ+、SOGIEなどの人権教育の充実				I いわゆる「ブрак校則」の問題が表面化している。実際、不適切な校則は広く存在するものと思われる。この状況をふまえると、点検評価報告（教育委員会）に掲げるKPIの指標として「学校のきまりを守っている児童生徒の割合」という指標自体が不適切ではないか。不適切な校則まで遵守する必要はなく、それよりも、不適切な校則をおかしいといえる児童生徒を育成すべきではないか。				
③	家庭訪問相談員やスクールソーシャルワーカー等による悩みや不安を抱える児童生徒の相談支援体制の充実および関係機関との連携強化				I 「いじめ認知の件数」ではなく、「いじめの認知件数のうち、解消しているものの割合」を点検評価報告（教育委員会）に掲げるKPIの指標としているのは、適切であると考えます。いじめの発生を抑止するのは現実的ではなく、むしろ、いじめが発生したときに、いかにそれを軽微な段階で発見し、対策を講ずるかが重要である。				
④	教育支援センターの充実				I 「赤ちゃん登校日」については、令和5年度も実施を見送ったが、乳幼児が参加する施策の性質上、やむを得ないものとする。今後も、乳幼児や児童の安全を最優先し、施策の再開については慎重に判断していただきたい。				
⑤	話し合い活動、道徳教育の充実				II 防災教育、安全教育の推進について、防災ハンドブックを使っての学習は有効だと思うが、いざという時どう行動をとるかは実際の訓練を通して身に付けさせることが大事だと思う。また、ジュニア救命救急講習会については、実施するのであれば希望のあった小学校を対象にというよりは、小学校在学中に一度は経験するように計画を立てて行く必要があるのではないかとと思う。				
II 災害時等に子どもたちが主体的に命の安全を守ることができるよう、危険予測・危機回避能力を育成します。					II 点検評価報告（教育委員会）に掲げるKPIの学校事故災害の割合が高止まりしている現状である。しかし、政策評価としてこの指標を基準とするのは適切だろうか。児童生徒が学校生活していく中では、些細な小規模の怪我はむしろ一定程度で発生しうるものであり、学校災害の発生割合の低下を企図すると、児童生徒の活動を萎縮することにならないか。重大事故の件数で測るなど、指標の再検討をしてもよいのではないか。				
①	学校・家庭・地域が連携した安全教育の推進				II 災害対策という点では、教職員に対する災害対策研修の充実が重要ではないか。現状でも防災アドバイザーからの研究を行っているとのことであるが、災害ごとに異なる避難ルートの確認など、より実践的実効的な防災対策の研修が必要であると考える。				
②	防災アドバイザーを活用した防災教育の充実と地域の実情に合わせた訓練の実施								
③	警察等の関係機関と連携した交通安全教育の推進								

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① 自分にはよいところがあると思っている子どもの割合 (小6)	%	78.7	増加させる 81.2	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる	⑤ 防災ハンドブックを家族と共有し家族と避難場所を決める取組みを行った学校の割合 (小学校)	%	76.2	81.0 76.0	85.7	90.5	95.2	100
② 自分にはよいところがあると思っている子どもの割合 (中3)	%	74.4	増加させる 76.2	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる	⑥ 防災ハンドブックを家族と共有し家族と避難場所を決める取組みを行った学校の割合 (中学校)	%	71.4	77.1 67.0	82.8	88.6	94.3	100
③ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合 (小6)	%	96.5	97.2 97.1	97.9	98.6	99.3	100								
④ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合 (中3)	%	96.0	96.8 96.2	97.6	98.4	99.2	100								

個別事業					1-3-1 「いのち」の大切さを学ぶ教育の推進 / 1			
1	数 10	項 1	目 3	学校教育課		青少年指導センター運営活動事業		
				予算額	(千円) 2,128	特定財源	(千円) 90	心豊かでたくましい青少年の育成を図る。また、小中学校等の関係機関との連携強化や児童生徒に貸与しているタブレット端末の検索履歴を共有し、非行・いじめの未然防止に努める。 ①指導・相談業務 ・一般指導（昼間・夜間） ・随時指導 ・相談業務 ②青少年の健全育成活動 青少年育成推進員 ・推進員報償金 ・青少年育成業務委託料 ③青少年健全育成機関・団体との連携 【特定財源】（県）市町村総合交付金（青少年健全育成推進員設置事業） 90千円
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	
				総合計画 成果指標	自分にはよいところがあると思っている子どもの割合（小6） 自分にはよいところがあると思っている子どもの割合（中3）			
				事業成果 または 活動指標	指導活動の実施回数		目標値 40 実績値 単位 回	
事業評価			目標値 実績値 単位					
2	数 10	項 1	目 3	学校教育課		教育相談事業		
				予算額	(千円) 20,430	特定財源	(千円)	子どもの居場所づくりや健全な心身の発達のため、児童生徒の諸課題についての相談・支援を行う。 ①教育相談室（総合文化センター2階）の開設 ・いじめや不登校、養育の悩みについて、個別相談を実施 ②ふれあい教室（浜田コミセン内）の開設 175千円 ・不登校児童生徒およびその家庭に対して、個別学習や相談を通しての支援を実施 ③各中学校にスクールカウンセラー（SC）を2名ずつ配置（要請で小学校へも派遣） 5,900千円 ・児童生徒およびその保護者、教職員に面談や相談を通しての支援を実施 ④各中学校に教育相談員を配置 4,284千円 ・児童生徒およびその保護者、教職員に面談や相談を通しての支援を実施 ⑤家庭訪問相談員を派遣 990千円 ・不登校児童生徒およびその家庭に対して、登校支援や相談活動を実施 ⑥スクールソーシャルワーカーを派遣 672千円 ・不登校や生徒指導上の課題を抱える児童生徒およびその家庭に対して登校支援や相談活動を実施 ⑦特別支援教育巡回相談員を派遣 7,322千円 ・通常学級で特別な支援が必要だったり発達について心配のある児童生徒について、検査や相談、支援を実施 ⑧教職員や各相談員、保護者に対しての研修を実施 249千円
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	
				総合計画 成果指標	自分にはよいところがあると思っている子どもの割合（小6） 自分にはよいところがあると思っている子どもの割合（中3）			
				事業成果 または 活動指標	相談受付数		目標値 10,000 実績値 単位 件	
事業評価	スクールカウンセラー配置人数		目標値 8 実績値 単位 人					
3	数 10	項 1	目 3	学校教育課		子どもの命を守る安全対策事業		
				予算額	(千円) 2,701	特定財源	(千円) 734	安全教育に携わる教職員の資質向上や防災管理体制の見直しを図る。また、子どもの命を守る安全教育の推進や児童生徒の安全安心な通学を支援する。 ①子どもの命を守る安全教育推進会議の開催（年2回） 71千円 ②各校に防災アドバイザーを派遣（年6回） 60千円 ・防災教育の観点での授業への支援 ・児童生徒向けの防災教育講話 ・教職員を対象にした危機管理研修会での講話 ・避難訓練視察、防災マニュアルの見直しへの提言 ③学校防災マニュアルの改善・整備と研修のための会議の開催（年2回） ④電子版「酒田防災ハンドブック」の内容検討会議の開催（年2回） 60千円 ⑤児童生徒への安全教育および教職員への安全指導研修 ・AED操作、心肺蘇生、海難事故およびアレルギー対応等についての児童生徒向けの実演と講話 ・教職員を対象にしたAED操作および心肺蘇生等に関する救命救急講習会の開催 ⑥地域学校安全指導員による交通安全巡視 1,094千円 ⑦登録者に対する不審者情報等の一斉メール配信 792千円 ⑧連絡MOBI保守分 550千円 【特定財源】（県）地域ぐるみの学校安全体制整備事業費補助金 734千円
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	
				総合計画 成果指標	防災ハンドブックを家族と共有し家族と避難場所を決める取組みを行った学校の割合（小学校） 防災ハンドブックを家族と共有し家族と避難場所を決める取組みを行った学校の割合（中学校）			
				事業成果 または 活動指標	電子版「防災ハンドブック」を授業等で実際に使用した学校の割合（小学校）		目標値 91 実績値 単位 %	
事業評価	電子版「防災ハンドブック」を授業等で実際に使用した学校の割合（中学校）		目標値 89 実績値 単位 %					



総合計画抜粋		令和5年度の事業実施に対する外部評価	
<p>I 学びに向かう力、人間性等を育成し、全ての子どもたちが社会の一員として自立しSociety5.0の時代を豊かに生きていくための基礎となる学力を育成します。</p> <p>① 小中一貫教育の推進（中学校区における目指す子ども像の共有、9年間の一貫性のある教育の実践）</p> <p>② A L T を活用した英語教育の充実</p> <p>③ I C T 機器を活用した授業、家庭学習の充実</p> <p>④ インターネットの便利さ、脅威やルールを理解し、適切に判断、使用するための能力の育成</p> <p>⑤ 教育研修センターでの教職員研修の充実</p> <p>II 自らの夢に向かって意欲的に学んでいくため、基盤となる問題発見・解決能力等の育成を推進します。</p> <p>① キャリア教育の推進</p>	<p>I 小中連携の成果は上がっているようで、引き続き連携を強化することを期待したい。</p> <p>I 義務教育学校の設置を計画しているとのことだが、先行事例に十分に研究し、義務教育学校の課題を洗い出し、事前に対策を行うなど、事前の対策に努めていただきたい。また、地域にも義務教育学校の教育内容を説明し、地域や保護者の理解を得ながら推進していただきたい。</p> <p>I 教員自身が「教えること」にやりがいを感じることでできる環境づくりがよい教員を生み、それがよい授業へと直結し、それが児童生徒の学力向上につながるのではないかと。教育委員会としては、そのような環境整備に努めていただきたい。</p> <p>I ICTの活用については学校見学を通してかなり進んできていることを実感した。しかし、小学校段階においてすでに児童の個人差が大きいことが気になった。普段の生活の中で使用しているかどうかが大きく影響しているのではないかと。授業を進める上で大きな課題となっていることが見て取れた。授業の中でどんな場面でどう使用するのが効果的なのか検討していく必要がある。</p> <p>I 外国語指導助手の活用においてはまだまだという感想を持った。日本人ができることと指導助手ができることを考えたらもっと指導助手に任せるべきで、生徒が生徒の英語を聞く、話す場面が少ない。また一人の生徒の答えは全体に還元し繰り返しさせることが必要で、基本的なことできていないという感想を持った。</p> <p>I 無線LAN整備率100%達成は素晴らしいが、その質についてはどうか。中学校に視察に行った際、指定のサイトにアクセスできない学生が散見され、授業の進行に支障をきたす状況を見た。今後は、回線容量の強化等、通信の品質向上に努めるべきではないか。</p> <p>I 外国語指導助手の活用においてはまだまだという感想を持った。日本人ができることと指導助手ができることを考えたらもっと指導助手に任せるべきで、生徒が生徒の英語を聞く、話す場面が少ない。また一人の生徒の答えは全体に還元し繰り返しさせることが必要で、基本的なことできていないという感想を持った。</p> <p>I 教職員研修等の充実について、先進的な取り組みを行っている学校に職員を派遣し、その内容を全体に紹介していく必要があるし、市内の学校、あるいは教員の授業や生徒指導の取り組みを紹介していくことも必要だと思う。生徒の夏休み、冬休み、春休みを利用し、教職員の研修を充実させてほしい。</p> <p>I 研修を柔軟化すべきではないか。悉皆研修もよいが、各教員の長所ややりたい技能を伸ばすような研修があってもよいのではないかと。そうならば、学校というコミュニティが様々な特技を有する教員集団となり、より充実した教育を提供できるような集団になれるのではないかと。</p> <p>II この施策に関しては小中9年間を通して段階的に進めていく必要があると思う。夢や目標は成長段階に応じて変化することもあり、あくまでも社会を知り、自分の将来を考えるきっかけ作りと考えた方がよいのではないかと。仕事について知ることは大切だが職場体験は必ずしも実際の仕事を体験することにはならない。中学生に任せられる仕事は限られているし、受け入れ先の負担も大きい。また、必ずしも生徒の興味関心のある職場を体験できるとは限らない。体験にこだわらず、職場研究というような形で興味関心のある職場訪問とそこで得た情報の発表といった学習方法もある。</p> <p>II キャリア教育が職場体験に偏在している感がある。本来、キャリア教育とは自らのキャリアを考え、その途を開拓するための教育であるべきであり、もっと多様なキャリア教育を考えてもよいのではないかと。</p>		

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① 標準学力検査における全国標準得点	—	21	全教科で上回る 19	全教科で上回る	全教科で上回る	全教科で上回る	全教科で上回る	⑤ 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合（中3数）	%	63.1	増加させる 54.1	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる
② 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合（小6国）	%	70.1	増加させる 71.6	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる	⑥ 【追】 夢や希望を持つ児童生徒の割合	%	78.0	— 78.0	—	増加させる	増加させる	増加させる
③ 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合（小6算）	%	59.5	増加させる 61.4	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる	⑦ 【追】 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組み児童生徒の割合	%	85.0	— 85.0	—	増加させる	増加させる	増加させる
④ 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合（中3国）	%	60.6	増加させる 56.1	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる								

個別事業					1-3-2 社会の変化に対応できる確かな学力の育成 / 1				
1	数 10	項 1	目 3	学校教育課		教職員等研修事業			教職員の資質・能力を向上させるため、学習指導・生徒指導・特別支援教育・情報教育等の研修や、本市の「重点課題」に係る研修を実施する。 ①学習指導・生徒指導・特別支援教育・情報教育等についての研修を実施 132千円 ②教科指導にかかる研修を実施 55千円 ③本市の教育目標の実現に向けた、重点課題に係る研修を実施 466千円 ・清水宏吉教育参与を招聘した研修会を実施（年2回）
				予算額	(千円) 653	特定財源	(千円)		
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)		
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合				
				事業成果 または 活動指標	本事業の研修内容に対し「役に立った」と回答する割合				
目標値	60	実績値		単位 %					
目標値		実績値		単位					
事業評価									
2	数 10	項 1	目 3	学校教育課		教育活動充実事業			学力を向上させるため、児童生徒個人の能力・学力を把握し分析する。 ①標準学力検査・知能検査の実施と分析 9,095千円 ・標準学力調査（小学4年から中学3年）、知能検査（小学4年および中学1年）を実施、分析 ②WEBQU（※）の助成と調査研究 4,139千円 ・児童生徒の状態を市教員が多角的に知るためのWEBアンケート（小学3年から中学3年）の年2回実施、分析 ・WEBQU研修会 各小中学校の教育相談担当者の参集、各校へのオンライン配信 （※）WEBQU・・・児童生徒の状態を市教員が多角的に知るためのアンケートツール
				予算額	(千円) 13,234	特定財源	(千円)		
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)		
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合				
				事業成果 または 活動指標	本事業の研修内容に対し「役に立った」と回答する割合				
目標値	80	実績値		単位 %					
目標値		実績値		単位					
事業評価									
3	数 10	項 1	目 3	学校教育課		外国語指導助手招致事業			児童生徒の学習意欲とコミュニケーション能力を向上させ、国際理解の基礎を涵養するため、外国語指導助手（ALT）による英語授業等の指導を行う。 ①ALT（7名配置）に係る経費 ・小学校21校、中学校7校、合計28校にそれぞれ30～100日程度配置(学級数に応じて配置日数を決定) ・外国語活動ならびに授業における指導や教材作成の補助 ・外国語科担当教員に対する現場研修での指導 ・各校での特別活動や課外活動での協力 ・英語弁論大会出場生徒への指導 【特定財源】 外国語指導助手アパート賃貸料 3,000千円、外国語指導助手アパート火災保険料 40千円
				予算額	(千円) 7,568	特定財源	(千円) 3,040		
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)		
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準得点				
				事業成果 または 活動指標	「英語が好き」という児童生徒の割合				
目標値	小80、中60	実績値		単位 %					
目標値		実績値		単位					
事業評価									

個別事業										1-3-2 社会の変化に対応できる確かな学力の育成 / 2	
4	数 10	項 1	目 3	学校教育課			拡充	小中一貫教育推進事業			小中一貫教育を通して、教員の指導力の向上と、本市の教育課題を改善し教育の質を高めることにより、児童生徒の社会の変化に対応できる確かな学力を育む。
				予算額	(千円) 2,603	特定財源		(千円)	①各中学校区での特色ある取り組み 1,819千円 ・中学校区ごとの小中学生の交流活動の実施 ・小中合同教職員研修会の実施 ・中学生職場体験学習等の実施 ・キャリア教育の実施		
				決算額	(千円)	特定財源		(千円)	②学習ソフト「CBT for SCHOOL」の活用 683千円 ・目的意識や学習習慣の確立		
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合			③【拡充】「まなびの樹」推進会議（仮）の新設 101千円 ・教職員の授業改善や研修の在り方、研修内容等を検討するため、小中学校の関係者だけでなく、幼稚園、保育園および高等学校の関係者、有識者等を含む委員で構成する会議を新設			
				事業成果 または 活動指標	家で自分で計画を立てて勉強をしている子どもの割合						
	目標値	71	実績値		単位	%					
	目標値	500	実績値		単位	人					
事業評価											
5	数 10	項 1	目 3	学校教育課			拡充	中村ものづくり事業			児童生徒に科学的原理を応用した科学・工学系ものづくりの楽しさを体験させるため、ものづくり実行委員会へ負担金を支出する。
				予算額	(千円) 2,712	特定財源		(千円) 2,712	①チャレンジものづくり塾（対象：小学4年～中学2年 40名） 695千円 ・内容：7月から10月にかけて5日間ロボットを制作し、最終回はコンテストを実施 ・講師：2コースを実施 A：産業技術短期大学庄内校、B：酒田光陵高等学校		
				決算額	(千円)	特定財源		(千円)	②サイエンス発明教室＆自由研究相談会（対象：小学1年～4年の児童 100名） 178千円 ・内容：親子で化学実験を実施、自由研究の相談受付 ・講師：鶴岡工業高等専門学校、酒田市教育研修センター外部講師		
				総合計画 成果指標	全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合（小6算数） 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合（中3数学）			③ものづくり出前授業（対象：市内の小中学校） 750千円 ・内容：講師が学校に出向いて、化学的な原理を利用した実験やものづくりを実施 ・講師：鶴岡工業高等専門学校、東北エプソン株式会社			
				事業成果 または 活動指標	各事業の受講者数の合計			④【拡充】20周年記念事業「ものづくり祭り」（小学生とその保護者） 970千円 ・内容：これまで実施したものづくりや実験のブースを多数用意し、体験を提供 ・講師：鶴岡工業高等専門学校、酒田光陵高等学校、産業技術短期大学庄内校、東北エプソン			
	目標値	1,000	実績値		単位	人					
	目標値	90	実績値		単位	%					
事業評価											
【特定財源】中村ものづくり基金繰入金 2,700千円ほか											
6	数 10	項 1	目 3	学校教育課			拡充	数理教育推進事業			児童生徒の数学力向上のため、知的好奇心や探究心を向上させる。
				予算額	(千円) 637	特定財源		(千円) 637	①エキスパート数学塾 ・数学のエキスパートを育成するため、実用数学技能検定合格に向けて講座を実施 ・実用数学技能検定の検定料補助 218千円 ・資料印刷代 10千円 ・講師テキスト代 68千円		
				決算額	(千円)	特定財源		(千円)	②酒田市教育委員会科学賞 ・理科研究に対する業績を評価し、意欲喚起を行い、子どもたちの資質・能力を育成 ・トロフィー、参加賞の購入 251千円 ・賞状製作費 17千円 ・講師謝金、旅費 58千円		
				総合計画 成果指標	全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合（小6算数） 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合（中3数学）						
				事業成果 または 活動指標	エキスパート養成数学塾の満足度						
	目標値	90	実績値		単位	%					
	目標値	80	実績値		単位	%					
事業評価											
【特定財源】地域人材育成・産業振興寄附金 500千円、教育振興基金繰入金 137千円											

個別事業				1-3-2 社会の変化に対応できる確かな学力の育成 / 3						
7	数 10	項 1	目 3	学校教育課		教育DX推進事業		市内小中学校の校務用および授業用のPCやネットワーク環境、各種学校用サーバを整備・管理することで安全かつ快適なICT環境を構築する。		
		予算額		(千円) 155,956	特定財源	(千円) 1,602	①校務用PC、タブレット端末の購入 ・校務用PC371台の購入 60,052千円			
		決算額		(千円)	特定財源	(千円)	②校務用および授業用PC、システム等の保守委託料 ・GIGAスクールネットワーク通信のさらなる安定化を目指しアセスメントを実施 4,718千円 ・令和6年度にデジタル化した社会科副読本の保守 132千円 ③セキュリティソフトや教育用ソフト等の使用料 ・セキュリティソフトや学習用ソフトのライセンスを購入 25,609千円 ・校務で使用するOfficeソフトのライセンス購入 4,415千円 ・GIGAスクールの無線アクセスポイントのメーカー保守が一部切れることから、新ライセンスへの切り替えや保証延長を実施 35,715千円			
		総合計画 成果指標		標準学力検査における全国標準得点					【特定財源】(国) ネットワークアセスメント実施促進事業費補助金 1,572千円、学校教材等実費負担金 30千円	
		事業成果 または 活動指標		快適なネットワーク環境が整っていると回答した小中学校		目標値	28		実績値	単位
事業評価		目標値		実績値		単位				
8	数 10	項 1	目 3	学校教育課		自然体験学習事業		児童に豊かな自然を体験させるため、飛島いきいき体験スクールと鳥海高原家族旅行村での自然体験学習を実施する。		
		予算額		(千円) 3,759	特定財源	(千円)	①飛島いきいき体験スクール 864千円 ・参加する児童は4年または5年 ・実施予定の学校で実行委員会を組織 ・活動拠点となる飛島小中学校への必要備品の整備、維持管理 ・体験スクール実施にあたり必要となる経費について保護者負担を軽減するため負担金を交付			
		決算額		(千円)	特定財源	(千円)	②鳥海高原家族旅行村を起点とする自然体験学習 2,895千円 ・参加する児童は3年~5年 ・安全で充実した活動となるよう、関係者会議や利用者団体セミナーを実施			
		総合計画 成果指標		標準学力検査における全国標準得点						
		事業成果 または 活動指標		自然体験学習への参加人数		目標値	100		実績値	単位
事業評価		事業参加者の「満足」+「まあ満足」の合計		目標値	95	実績値	単位	%		
9	数 10	項 2	目 2	学校教育課		小学校教材等充実事業		教育環境を整備するため、市立各小学校で必要な教材等を購入する。		
		予算額		(千円) 43,121	特定財源	(千円) 1	①教材・備品等の購入 41,332千円 ②教材・備品等の修繕 460千円 ③各種印刷代 527千円 ④ピアノ調律等の手数料 791千円			
		決算額		(千円)	特定財源	(千円)				
		総合計画 成果指標		標準学力検査における全国標準得点		全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合				
		事業成果 または 活動指標		教材備品の購入		目標値	年度内完了		実績値	単位
事業評価		目標値		実績値		単位				

個別事業					1-3-2 社会の変化に対応できる確かな学力の育成 / 4					
10	数 10	項 2	目 2	学校教育課		小学校教師用教科書・指導書購入事業		4年ごとに改訂される教科書に対応するため、教師用教科書および指導書を購入整備する。		
				予算額	(千円) 14,415	特定財源	(千円)	①教師用教科書・指導書の購入 ・令和6年度に教科書および指導書が更新 ・令和7年度は増級および持ち上がり使用する教科分を購入		
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)			
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合					
				事業成果 または 活動指標	教師用教科書・指導書の購入					
		目標値	年度内完了	実績値	単位					
		目標値		実績値	単位					
事業評価										
11	数 10	項 2	目 2	学校教育課		小学校理科教育等設備整備事業		理科・算数教育の向上のため、小学校の理科・算数に関する備品等を購入する。		
				予算額	(千円) 1,240	特定財源	(千円) 620	①理科教育設備備品 4校 ②算数教育設備備品 2校		
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	【特定財源】(国)理科教育等設備費補助金 620千円		
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合					
				事業成果 または 活動指標	教材の購入					
		目標値	年度内完了	実績値	単位					
		目標値		実績値	単位					
事業評価										
12	数 10	項 3	目 2	学校教育課		中学校教材等充実事業		教育環境を整備するため、市立各中学校で必要な教材等を購入する。		
				予算額	(千円) 34,292	特定財源	(千円) 1,801	①教材・備品等の購入 31,471千円 ②教材・備品等の修繕 909千円 ③各種印刷代 683千円 ④ピアノ調律等の手数料 328千円		
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	【特定財源】教育振興基金繰入金 1,800千円ほか		
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合					
				事業成果 または 活動指標	教材の購入					
		目標値	年度内完了	実績値	単位					
		目標値		実績値	単位					
事業評価										

個別事業				1-3-2 社会の変化に対応できる確かな学力の育成 / 5			
13	数 10	項 3	目 2	学校教育課		中学校教師用教科書・指導書購入事業	
				(千円)		(千円)	
予算額		23,105		特定財源	①教師用教科書・指導書の購入		
決算額				特定財源			
総合計画 成果指標		標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合					
事業成果 または 活動指標		教師用教科書・指導書の購入					
		目標値	年度内完了	実績値	単位		
		目標値		実績値	単位		
事業評価							
14	数 10	項 3	目 2	学校教育課		中学校理科教育等設備整備事業	
				(千円)		(千円)	
予算額		620		特定財源	310		
決算額				特定財源			
総合計画 成果指標		標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合					
事業成果 または 活動指標		教材の購入					
		目標値	年度内完了	実績値	単位		
		目標値		実績値	単位		
事業評価							
		①理科教育設備備品 2校 ②数学教育設備備品 1校 【特定財源】(国)理科教育等設備費補助金 310千円					
15	数 10	項 2	目 2	学校教育課		小学校就学援助事業	
				(千円)		(千円)	
予算額		25,038		特定財源	13		
決算額				特定財源			
総合計画 成果指標		標準学力検査における全国標準点 希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合					
事業成果 または 活動指標		就学援助率					
		目標値	10	実績値	単位	%	
		目標値		実績値	単位		
事業評価							
		事業名称を「要保護及び準要保護児童援助事業」から「小学校就学援助事業」に変更 ①支援の対象となる経費 25,038千円 ・学用品費、新入学児童学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費、医療費、学校給食費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費 【特定財源】(国)要保護児童援助費補助金 13千円					

個別事業				1-3-2 社会の変化に対応できる確かな学力の育成 / 6						
16	款 10	項 3	目 2	学校教育課		中学校就学援助事業				
				(千円)		(千円)				
				予算額	30,139	特定財源	39	学校教育法に基づき、経済的な理由によって就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の一部を支給する。		
				決算額		特定財源		事業名称を「要保護及び準要保護児童援助事業」から「中学校就学援助事業」に変更 ①支援の対象となる経費 30,139千円 ・学用品費、新入学児童学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費、医療費、学校給食費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費		
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準点 希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合		【特定財源】(国) 要保護児童援助費補助金 39千円			
				事業成果 または 活動指標	就学援助率					
	目標値	10	実績値		単位	%				
	目標値		実績値		単位					
事業評価										
17	款 10	項 4	目 1	社会教育課		酒田っ子根の力育成プロジェクト事業				
				(千円)		(千円)				
				予算額	134	特定財源		①吉野弘氏の詩に触れる朗読会を実施 114千円 ②異年齢で交流する場を提供するため、自然体験やものづくりなどの体験活動(チャレンジ冒険団)を実施 20千円		
				決算額		特定財源				
				総合計画 成果指標	【追】夢や希望を持つ児童生徒の割合 【追】課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合					
				事業成果 または 活動指標	参加者の満足度					
	目標値	85	実績値		単位	%				
	目標値		実績値		単位					
事業評価										
	款	項	目							
				(千円)		(千円)				
				予算額		特定財源				
				決算額		特定財源				
				総合計画 成果指標						
				事業成果 または 活動指標						
	目標値		実績値		単位					
	目標値		実績値		単位					
事業評価										



総合計画抜粋					令和5年度の事業実施に対する外部評価				
I 多様性を認め合う心豊かな子どもたちの育成に努めます。					I 読書活動については学校図書室の貸出冊数、読書が好きな児童生徒の割合が減少していることから、何らかの対策が必要と考える。読む力を育てることはすべての教科の学力に結び付き、さらに文字を通して想像力も鍛えられ、心の成長にもつながる。				
① 多様な体験学習、交流活動の推進 ② 地域の歴史や文化をはじめ、国内外の文化に触れる機会の創出 ③ 中央図書館との連携や学校図書専門員による読書活動の推進					I 小中学校の貸出件数、読書好きの割合は減少しているのに対し、市立図書館の貸出件数は増加している。この乖離を分析し、教育委員会として対策を講じるべきではないか。				
II 子どもたちの望ましい食習慣の形成に努めます。					II 給食や食育に係る事業は適正に進められていると思う。物価高の影響を心配したが、対応が取られていることに安堵した。				
① 学校給食を通じた食育の推進 ② 給食日より等を活用した学校と家庭の連携による食習慣の形成					II 地元産食材の利用率については、話を伺うと物価高騰の中、涙ぐましい努力のもとでなんとか維持している状況にある。本施策の意義は十二分に理解できる。しかし、給食制度の本旨は、給食費を抑えつつ児童生徒に安全で質の高い給食を供給することである。この本旨に反することのない範囲で地元産食材の利用を追求すべきではないか（地元産食材の利用率が高ければ高いほどよい、という話ではないのか）。				
III 日常的に運動する習慣を通じた基礎的運動能力や体力の向上を図ります。					III 陸上指導サポーター事業について、すべての小学校で実施したことは評価できる。走ることは基本であると思うし、少しでも向上が実感できれば運動することの好きな児童生徒の育成に繋がっていくのではないかとと思う。運動をする、しない児童生徒の二極化の解消の具体的施策を作成することが課題だ。				
① 体を動かすことの楽しさを実感できる運動機会の提供とスポーツ環境の整備 ② 家庭、地域コミュニティ活動におけるスポーツ体験の推進 ③ 子どもの運動能力の測定・把握と運動に関する適切な助言					III 陸上指導サポーター等、スポーツの専門家が児童生徒に指導する機会をもうけることは、専門家から直接指導を受けることとなり、競技の技能向上に資するのみならず、スポーツ好きを増やす要因にもなるのではないかと。陸上のみならず、様々な種目で同様の施策が展開されることを期待したい。				
IV 質の高い文化、芸術、スポーツに触れる機会をつくります。					III 地元のプロや社会人競技団体との連携を強化してはどうか。たとえばアランマーレの選手から指導を受ける機会等があれば、子どもたちのスポーツに対する関心も高まるのではないかと。				
① スクールプログラム、アウトリーチの活用 ② トップアスリートが参加するイベント、各種全国大会、東北大会等の誘致 ③ 東北大会等が開催できる施設環境の充実					IV 「第1章 政策4 施策5」に掲載。				

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① 子どもたちが文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	23.6	27.0	30.3	33.7	37.0								
			30.1												
② 運動が好きと思っている子どもの割合（小）	%	93.4	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる								
			90.0												
③ 運動が好きと思っている子どもの割合（中）	%	86.1	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる								
			85.8												
④ 【追】学校が計画した給食日数に対する提供率（事故、食中毒等による中止がなかったか）	%	100	-	-	100	100	100								
			100												

個別事業						1-3-3 豊かな心と健やかな体の育成 / 1					
1	数 10	項	目	企画管理課		小学校給食事業	安全安心な小学校給食を提供する。				
		2	3	(千円)	(千円)		①学校給食費の保護者負担軽減 ・保護者負担を1食あたり260円に据置（75円の軽減）				
		予算額		509,378	特定財源		299,997	②献立年間指導計画の作成、給食調理員の研修			
		決算額			特定財源			③調理室内、調理器具の消毒や調理従事者、食材細菌検査の実施			
		総合計画 成果指標		【追】学校が計画した給食日数に対する提供率 (事故、食中毒等による中止がなかったか)				④給食調理業務委託 177,474千円			
事業成果 または 活動指標	調理業務従事者を対象した研修会の実施回数					⑤大型給食調理機器の借上および備品購入 14,480千円 ・食器洗浄機、スチームコンベクションオープン、食器消毒保管庫、回転釜、牛乳保冷庫等 ・保存食用冷凍庫、作業台、L型運搬車、液晶ディスプレイ、洗濯機					
	目標値	1	実績値		単位	回	【特定財源】(国)物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 58,321千円、小学校給食費物資収入 240,780千円ほか				
	給食調理施設に対する衛生監視指導回数					⑥給食物資購入 301,453千円					
目標値	1	実績値		単位	回						
事業評価											
2	数 10	項	目	企画管理課		中学校給食事業	安全安心な中学校給食を提供する。				
		3	3	(千円)	(千円)		①学校給食費の保護者負担軽減 ・保護者負担を1食あたり305円に据置（60円の軽減）				
		予算額		452,432	特定財源		176,225	②献立年間指導計画の作成			
		決算額			特定財源			③調理室内、調理器具の消毒や調理従事者、食材細菌検査の実施			
		総合計画 成果指標		【追】学校が計画した給食日数に対する提供率 (事故、食中毒等による中止がなかったか)				④給食業務委託 448,949千円 ・Aグループ（一中、二中、六中） ・Bグループ（三中、四中） ・島海八幡中学校 ・東部中学校			
事業成果 または 活動指標	調理業務従事者を対象した研修会の実施回数					⑤大型給食調理機器の借上 964千円 ・回転釜、牛乳保冷庫					
	目標値	1	実績値		単位	回	【特定財源】(国)物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 25,718千円、中学校給食費物資収入 150,037千円ほか				
	給食調理施設に対する衛生監視指導回数										
目標値	1	実績値		単位	回						
事業評価											
3	数 10	項	目	学校教育課		スポーツ・文化活動支援事業	小中学生のスポーツおよび文化活動を支援し、子どもたちの教育活動の充実を図る。				
		1	3	(千円)	(千円)		①部活動指導員の配置（国1/3、県1/3の補助） 3,735千円				
		予算額		10,356	特定財源		2,471	②小学校授業への陸上サポーターの派遣 140千円			
		決算額			特定財源			③吹奏楽合同演奏会の実施 367千円			
		総合計画 成果指標		運動が好きと思っている子どもの割合				④中学校合唱コンクールに向けた各中学校への外部指導者招聘 105千円			
事業成果 または 活動指標	子どもたちが文化芸術に触れる機会に対する満足度					⑤小学生観劇教室（劇団四季「こころの劇場」）の実施 609千円					
	陸上指導サポーター事業を受けた学校（教員）の満足度					⑥中学校体育連盟大会及び中学校文化連盟大会出場等への支援 4,711千円					
	目標値	100	実績値		単位	%	【特定財源】(県)部活動指導員配置促進事業費補助金 1,862千円、小学校観劇教室負担金 609千円				
目標値		実績値		単位							
事業評価											

個別事業						
4	款 10	項 1	目 3	学校教育課	部活動改革体制整備事業	中学校部活動の地域移行等を行う。
				(千円) 17,912 特定財源 (千円) 17,547	(千円) 13,775 ①地域スポーツクラブへの再委託 ・地域の総合型スポーツクラブや中体連に登録しているクラブチームへの委託を中学校区7校区に拡大 ②総括コーディネーター1名の配置 1,951千円 ・関係団体の話し合いを進め、令和7年度末までに運動部の休日部活動の地域移行を達成し、文化部の休日部活動の地域移行に向けた体制を整備するため、総括コーディネーターを配置 ③サポーターセミナーの開催 386千円 ・スポーツ・文化サポーターバンクの拡大および指導者の資質向上 ④先進地視察 600千円 ・部活動地域移行している自治体の視察 ⑤新たな地域クラブへの支援 820千円 ⑥酒田市部活動改革推進協議会の設立 365千円 【特定財源】(県)地域クラブ活動体制整備事業(実践研究種別)委託金 17,547千円	
決算額				特定財源		
総合計画 成果指標	運動が好きと思っている子どもの割合(中)					
事業成果 または 活動指標	学校部活動の地域移行が進んでいると回答した保護者の割合 目標値 増加させる 実績値 単位 % 地域クラブ指導者数 目標値 増加させる 実績値 単位 人					
事業評価						
5	款 10	項 5	目 1	スポーツ振興課	子どものスポーツチャレンジ支援事業	子ども達がスポーツに出会いチャレンジするきっかけを創出し、身近な場所でスポーツに取り組むことができる環境を整備する。
				(千円) 5,607 特定財源 (千円)	(千円) 472 ①東北公益文科大学と連携して、鬼ごっこ事業を実施 ・対象:市内小学校のうち5校程度 ・期間:8月から2月まで 各校10回程度実施 ・会場:各小学校体育館またはグラウンド等 ②スポーツ能力測定会を実施 1,873千円 ・対象:未就学児から中学生 ・時期:11月下旬 ・場所:INPEX酒田アリーナ ③酒田市スポーツ少年団本部活動に対し負担金を支出 3,262千円 ・7月~8月 酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会(6種目) ・8月~2月 指導者講習会・技術講習会(6種目) ・10月~11月 スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 ・11月 山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会	
決算額				特定財源		
総合計画 成果指標	運動が好きと思っている子どもの割合(小)					
事業成果 または 活動指標	子ども(小学生)のスポーツ実施率 目標値 49.5 実績値 単位 %					
事業評価						
	款	項	目			
予算額				特定財源		
決算額				特定財源		
総合計画 成果指標						
事業成果 または 活動指標	目標値		実績値		単位	
事業評価						



総合計画抜粋		令和5年度の事業実施に対する外部評価	
<p>I 全ての子どもたちが個々の能力を最大限に伸ばす学校づくりを推進します。</p> <p>① 共生社会の形成に向けて障がいのある方と障がいのない方が相互に人格と個性を尊重し支え合い共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの確保</p> <p>II 支援を必要とする子どもの社会的な自立を目指し、切れ目なく支援を受けることができるよう関係機関との連携を図ります。</p> <p>① 幼児教育・高等教育機関との連携</p> <p>III 支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて対応します。</p> <p>① 特別支援教育の専門家等による研修と相談支援体制の充実</p> <p>② 教育支援員の配置と研修の充実</p>	<p>I インクルーシブ教育の推進は、性的マイノリティや他国にルーツを持つ人達と一緒にくらししていく多様な社会の実現のためにも非常に重要な課題であると考え、当事者の声を実際に聴く機会を設ける等、一層の推進をお願いしたい。</p> <p>II 個別の指導計画の作成率がほぼ100%であることは評価できる。長期的な計画を作成し、そのうえで1年間の計画作成、また個々の成長を確認しながら次年度の計画を修正し、職員間で共有していく必要がある。特別支援教育という支援や配慮が強調されがちだが、最終目標は社会で生活できることだと思うので、本人のできることを増やし、また時には自分のできることとできないことを自覚し、周囲に支援や協力を求められる人間に育てていく必要がある。学校見学では支援学級と通常学級を行き来できるような体制作りが進められていると感じた。</p> <p>III 特別支援教育において特別支援コーディネーターが大きな役割を果たしていることが理解できる。このような状況に鑑みて、この職の充実をはかることが重要となるのではないか。</p> <p>III 特別支援を要する児童生徒の場合、それぞれの児童生徒の個性が強く、個別的な対応が必要であり、現場の教職員のご苦労と尽力が垣間見えた。是非、教育委員会としては、現場の頑張りをサポートできる体制づくりに尽力いただくことを期待したい。</p>		

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
① 人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合 (小6)	%	85.9	実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
			86.7	87.5	88.4	89.2	90.0								
② 人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合 (中3)	%	89.8	実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
			89.8	89.9	89.9	90.0	90.0								
③ 【追】 障がいのある児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成率	%	100	実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
			-	-	100	100	100								
④ 希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合	%	73.0	実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
			76.5	80.0	81.6	83.2	84.8								

個別事業														
1	数 10	項 1	目 3	学校教育課			日本語指導講師等派遣事業	必要な児童生徒に対し、日本語指導講師や長期入院学習アドバイザーを派遣する。 ①日本語指導講師派遣 ・海外での生活が長期にわたったことなどにより、日本語でのコミュニケーションが困難な児童生徒に対し、個別に日本語指導をすることで、授業の理解を助け、日常生活を円滑に過ごせるように支援する。 ・日本語指導講師への謝金 ②長期入院学習アドバイザー派遣 ・長期入院している児童生徒に対し学習アドバイザーを派遣						
				予算額	(千円)	932					特定財源	(千円)		
				決算額	(千円)						特定財源	(千円)		
				総合計画 成果指標	人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合 (小6)						人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合 (中3)			
				事業成果 または 活動指標	日本語指導の実施時間数						目標値	108	実績値	
事業評価				目標値		実績値		単位						
2	数 10	項 1	目 3	学校教育課			教育支援員配置事業	児童生徒の学校生活・学習活動の充実のため、教育支援員を配置する。 ①教育支援員の配置 126,883千円 ・教育支援委員50名を各学校に配置 ・1日6時間×200日 ・通常学級における個別に支援を要する児童生徒への学習支援と生活支援 ・特別支援学級における児童生徒への学習支援と生活支援 ②教育支援員の資質を向上するための研修会実施 (年3回) 【特定財源】さかた応援基金繰入金 20,000千円						
				予算額	(千円)	126,883					特定財源	(千円)	20,000	
				決算額	(千円)						特定財源	(千円)		
				総合計画 成果指標	【追】障がいのある児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成率						研修内容に対し「役に立った」と回答する割合			
				事業成果 または 活動指標	目標値	80					実績値		単位	%
事業評価	目標値		実績値		単位									
3	数 10	項 1	目 3	学校教育課			医療的ケア児支援事業	医療的ケアが必要な児童生徒および保護者への支援を確保する。 ①松山小学校へ看護師配置 5,000千円 ・訪問看護ステーションに委託 対象児童 2名 ②宮野浦小学校へ看護師配置 3,090千円 ・会計年度任用職員対応 対象児童 1名 【特定財源】(国) 教育支援体制整備事業費補助金 2,696千円						
				予算額	(千円)	8,090					特定財源	(千円)	2,696	
				決算額	(千円)						特定財源	(千円)		
				総合計画 成果指標	人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合 (小6)						人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合 (中3)			
				事業成果 または 活動指標	医療的ケアの支援を必要とする児童生徒に対する看護師配置率						目標値	100	実績値	
事業評価	目標値		実績値		単位									

個別事業										1-3-4 共生社会の実現に向けた教育の推進 / 2				
4	款 10	項 2	目 2	学校教育課			小学校特別支援教育就学奨励事業			小学校の特別支援学級に就学する児童の保護者に対し必要な経費の一部を支援する。				
				予算額	(千円) 3,306	特定財源	(千円) 1,652	①特別支援学級へ就学するために必要な経費の一部を所得区分に応じて支援 ・対象経費:学校給食費、修学旅行費、学用品費、新入学児童学用品費、通学費、校外活動費、体育実技用具費、オンライン学習通信費						
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)							
				総合計画 成果指標	希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合					【特定財源】(国) 特別支援教育就学奨励費補助金 1,652千円				
				事業成果 または 活動指標	対象者に対するの援助率									
		目標値	100	実績値		単位	%							
		目標値		実績値		単位								
事業評価														
5	款 10	項 3	目 2	学校教育課			中学校特別支援教育就学奨励事業			中学校の特別支援学級に就学する児童の保護者に対し必要な経費の一部を支援する。				
				予算額	(千円) 3,192	特定財源	(千円) 1,595	①特別支援学級へ就学するために必要な経費の一部を所得区分に応じて支援 ・対象経費:学校給食費、修学旅行費、学用品費、新入学児童学用品費、通学費、校外活動費、体育実技用具費、オンライン学習通信費						
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)							
				総合計画 成果指標	希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合					【特定財源】(国) 特別支援教育就学奨励費補助金 1,595千円				
				事業成果 または 活動指標	対象者に対するの援助率									
		目標値	100	実績値		単位	%							
		目標値		実績値		単位								
事業評価														
6	款 10	項 1	目 3	学校教育課			再掲 教職員等研修事業			教職員の資質・能力を向上させるため、学習指導・生徒指導・特別支援教育・情報教育等の研修や、本市の「重点課題」に係る研修を実施する。				
				予算額	(千円) 653	特定財源	(千円)	①学習指導・生徒指導・特別支援教育・情報教育等についての研修を実施 132千円 ②教科指導にかかる研修を実施 55千円						
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	③本市の教育目標の実現に向けた、重点課題に係る研修を実施 466千円 ・清水宏古教育参与を招聘した研修会を実施(年2回)						
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準得点 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合									
				事業成果 または 活動指標	研修内容に対し「役に立った」と回答する割合									
		目標値	60	実績値		単位	%							
		目標値		実績値		単位								
事業評価														



総合計画抜粋					令和5年度の事業実施に対する外部評価				
<p>I 子どもを縁とし、学校と地域が一体となって地域づくり・人づくりを進めます。</p> <p>① 地域プロデューサー（仮称）等の配置による複数の小中学校やコミュニティ振興会等、関係団体の連携・協働の推進</p> <p>② 地域人材・地域資源を活用した学習機会と学習支援の創出</p> <p>③ 地域づくりを担うボランティア活動の推進</p> <p>④ 学校行事への地域住民の参加促進および地域行事への児童生徒等の参加促進</p> <p>⑤ SNS等を活用した地域情報の発信</p>					<p>I 日本におけるコミュニティスクールの考え方は本来の地域設立型のコミュニティスクールとは異なり、学校の教育活動に地域を巻き込み、教育活動に参加してもらう形ではないかと思う。ある意味地域に開かれた学校にしていくということだと考える。そういう意味では学校からの情報発信が大事で、学校行事へ地域の人たちの参加を促すような施策が必要だと思う。</p> <p>I コミュニティスクールに関する施策については、そもそもの教育振興基本計画では「地域学校協働本部やコミュニティスクールの設置も視野に入れて施策を展開する」とあるが、教育振興基本計画を実施していく中で、本市におけるこれまでの取り組み及び本市の特徴長所を踏まえ、本市独自のスクールコミュニティを推進する立場に転換したとのことである。このように、地域の経緯や特質をふまえて施策を柔軟に変更したことは評価に値するものとする。他の施策においても積極的に検討されたい。</p> <p>I コミュニティ振興会の職員を地域人材として育成することは、社会教育のみならず地域政策としても有為な人材の育成に直結するものと思われる。積極的に推進すべき施策ではなかろうか。</p> <p>II 大学等との高等教育との連携について、専門家による指導が小中学生に与えるプラスの影響は大きいと思う。児童生徒の知的好奇心を大きく向上する機会となりうる。このような観点から、関係機関との連携を進めていただきたい。</p>				
<p>II 子どもたちの多様な学習機会創出のため、地元企業や公益大、高等学校等との連携を深めます。</p> <p>① 地元企業での職業体験</p> <p>② 高等教育機関等と連携した科学・ものづくり教育・プログラミング教育等の推進</p>									

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① 地域の行事に参加している児童生徒の割合（小6）	%	77.5	80.0	82.5	85.0	87.5	90.0	⑤ 連携事業参加者の満足度	%	94.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
			81.8								94.7				
② 地域の行事に参加している児童生徒の割合（中3）	%	59.7	63.8	67.8	71.9	75.9	80.0								
			48.7												
③ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小6）	%	55.2	56.2	57.1	58.1	59.0	60.0								
			83.5												
④ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（中3）	%	48.5	50.8	53.1	55.4	57.7	60.0								
			65.3												



総合計画抜粋					令和5年度の事業実施に対する外部評価				
<p>I 児童生徒数の推移により、適正規模等課題のある地域の小・中学校の将来のあり方について、地域とともに考えます。</p> <p>① 地域の意見を踏まえた学校規模適正化の推進</p> <p>II より効果的な小中一貫教育の推進を図るため、同じ小学校から別々の中学校へ進学する現状の見直しに着手します。</p> <p>① 小中学校区の再編</p> <p>III 学校施設の長寿命化を図るとともに計画的かつ効率的な整備に努めます。</p> <p>① 長寿命化改修、予防改修による施設長寿命化の推進</p> <p>② 災害に強い安全・安心な学校施設の計画的整備</p> <p>IV 通学における安全確保に努めます。</p> <p>① 防災・防犯上の危険箇所の把握と情報の共有</p> <p>② スクールバスの安全で効率的な運行</p> <p>V 教職員が安心して職務に専念できる職場環境の形成と心身の健康維持に向けた対策の充実に努めます。</p> <p>① 教職員の健康管理対策の充実</p> <p>② 教職員の働き方改革の推進</p> <p>③ 部活動指導を含めた業務負担軽減対策の整備</p>					<p>I 学校規模の適正化の推進についてもかなり進んでいるようだが、カリキュラムだけでなく小中同一校舎ということで、発達段階に応じた施設設計に取り組んでいた。成長過程から見ると、小学生は児童だが中学生は思春期に入り、配慮が必要になると思う。</p> <p>I 学校統合については、関係者の理解と合意を得ながら進めることが重要である。川南地区の学校統合及び義務教育学校の設置は、保護者や地元の理解を得ながら着実に進めていることを確認した。本件については、引き続き、保護者、地元、関係機関へ丁寧な説明をしつつ施策をすすめることを要望する。</p> <p>III 学校施設の整備施に関しては計画的に進められており、トイレの洋式化も着実に改善している。</p> <p>III 大規模な学校施設の整備推進については、学校の統廃合と学校施設の耐用年数を念頭に置きながら、おおむね適切に行われているようである。</p> <p>III 一方、トイレの洋式化の進捗率は、小学校で81.8%、中学校で71.4%と、元来、令和6年度中に100%を目指すこととしていたことを考慮すると、高いとは言えない。令和6年度の計画で「トイレの洋式化については、学校施設の長寿命化改修工事と合わせ整備する」とある。トイレの洋式化は、児童生徒が快適な学校生活を送るために重要な要素であると考え。早急に迅速化を進めるべきではないか。</p> <p>IV 通学の安全確保については毎年点検検討を継続する必要があると思う。</p> <p>V 教職員の長時間勤務解消にむけて様々な取り組みを行っているが、その結果を見て次の対策を考える必要がある。</p> <p>V 部活動を学校から地域へ移行する施策は、様々な困難に直面していると承知するが、教員の働き方改革にも直結する問題であり、引き続き、尽力願いたい。また、地域によって状況が異なることは承知の上だが、可能であれば、本施策を機に、地域の人材の積極活用等、地域と学校との新たな関係構築につながるような形で展開できることを期待している。</p>				

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① 複式学級の数	学級	4	4以下	3以下	2以下	1以下	0								
② 【追】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合	%	-	-	-	-	R7年の調査を踏まえて設定	R7年の調査を踏まえて設定								

個別事業										1-3-6 学校教育環境の整備推進 /		1	
1	数 10	項 2	目 1	企画管理課			小学校施設整備事業			市内小学校21校の営繕調査結果および年次計画に基づき、計画的に更新・改修し安全で良好な教育環境の提供を図る。			
				予算額	(千円) 71,877	特定財源	(千円) 62,200	①施設修繕 27,587千円 ・平田小自動火災報知設備受信機更新修繕 ・松陵小ダムウエーター改修修繕 ・富士見小安全対策修繕 ・一條小自動火災報知設備受信機更新修繕 ・南平田小自動火災報知設備受信機更新修繕					
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	②設計委託料 11,300千円 ・南平田小給水設備改修（設計業務委託） ③工事請負費 32,990千円 ・十坂小屋内運動場屋根改修工事					
				総合計画 成果指標	【追】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合								
				事業成果 または 活動指標	施設整備事業実施箇所数			目標値	7	実績値		単位	か所
事業評価				目標値		実績値		単位		【特定財源】（市債）学校教育施設等整備事業債 28,800千円、（市債）旧合併特例債 16,900千円、（市債）過疎対策事業債 16,500千円			
2	数 10	項 2	目 3	企画管理課			平田地区給食施設整備事業			共同調理場を解体し、東部中学校に給食搬入口を整備する。			
				予算額	(千円) 68,717	特定財源	(千円) 68,272	①共同調理場解体工事 68,200千円 ・共同調理場の解体工事、東部中給食搬入口改修、周辺外構整備 ②調理機器の廃棄および移設費用 422千円 ・共同調理場で使用しなくなる調理機器の廃棄および他校調理室への移設に係る経費					
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	【特定財源】（市債）過疎対策事業債 58,600千円、（国）学校施設環境改善交付金 9,672千円					
				総合計画 成果指標	【追】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合								
				事業成果 または 活動指標	共同調理場解体の完成			目標値	年度内事業の完了	実績値		単位	
事業評価				目標値		実績値		単位					
3	数 10	項 2	目 4	企画管理課			小学校施設長寿命化事業			「酒田市学校施設整備方針」に基づいた予防改修工事を行い、学校施設の長寿命化を図る。			
				予算額	(千円) 245,070	特定財源	(千円) 185,166	①鳥海小屋内運動場改修工事 242,330千円 ・屋内運動場および渡り廊下の改修 ・カバー工法による屋根全面更新 ・外部サッシ全面更新 ・外壁改修および鉄骨躯体補修 ②鳥海小備品購入 2,607千円 ・体育館ギャラリーカーテン更新					
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	【特定財源】（市債）学校教育施設等整備事業債 171,700千円、（国）学校施設環境改善交付金 13,466千円					
				総合計画 成果指標	【追】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合								
				事業成果 または 活動指標	改修工事の完成			目標値	年度内事業完了	実績値		単位	
事業評価				目標値		実績値		単位					

個別事業										1-3-6 学校教育環境の整備推進 /		2			
4	款 10	項 2	目 4	企画管理課				小学校空調設備整備事業				老朽化した既存施設と特別教室へのエアコンの整備を年次計画で行う。			
				予算額		45,042 (千円)		特定財源		43,535 (千円)		小学校の職員室・保健室・会議室等の老朽化したエアコンの更新と理科室等の特別教室へのエアコン設置			
				決算額				特定財源				①設計委託料 3校（浜田小、浜中小、一條小） 7,252千円 ②工事請負費 1校（南平田小） 37,737千円			
				総合計画 成果指標				【追】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合				【特定財源】（市債）過疎対策事業債 34,100千円、（国）学校施設環境改善交付金 5,335千円、（市債）学校教育施設等整備事業債 4,100千円			
				事業成果 または 活動指標				設計及び設置工事の完了							
				目標値		年度内事業完了		実績値		単位					
				目標値				実績値		単位					
事業評価															
5	款 10	項 3	目 1	企画管理課				中学校施設整備事業				市内中学校7校の営繕調査結果および年次計画に基づき、計画的に更新・改修し安全で良好な教育環境の提供を図る。			
				予算額		25,212 (千円)		特定財源		19,900 (千円)		①施設修繕料 12,522千円 ・ 三中自動火災報知設備受信機更新修繕 ・ 東部中安全対策修繕 ②設計委託料 12,690千円 ・ 六中給水設備改修（設計業務委託）			
				決算額				特定財源				【特定財源】（市債）学校教育施設等整備事業債 15,800千円、（市債）過疎対策事業債 4,100千円			
				総合計画 成果指標				【追】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合							
				事業成果 または 活動指標				施設整備事業実施箇所数							
				目標値		3		実績値		単位		か所			
				目標値				実績値		単位					
事業評価															
6	款 10	項 3	目 4	企画管理課				中学校施設長寿命化事業				「酒田市学校施設整備方針」に基づいた予防改修工事を行い、学校施設の長寿命化を図る。			
				予算額		21,263 (千円)		特定財源		15,900 (千円)		①一中屋内運動場予防改修工事（設計業務委託） 21,263千円 ・ 屋内運動場および武道場の改修 ・ カバー工法による屋根全面更新 ・ 外部サッシ全面更新 ・ トイレ改修（洋式化） ・ 外壁劣化部の補修および塗替え			
				決算額				特定財源				【特定財源】（市債）学校教育施設等整備事業債 15,900千円			
				総合計画 成果指標				【追】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合							
				事業成果 または 活動指標				設計の完了							
				目標値		年度内事業完了		実績値		単位					
				目標値				実績値		単位					
事業評価															

個別事業					1-3-6 学校教育環境の整備推進 / 3							
7	数 10	項 3	目 4	企画管理課		中学校空調設備整備事業		老朽化した既存施設と特別教室へのエアコンの整備を年次計画で行う。				
				予算額	(千円) 8,452	特定財源	(千円) 6,300	中学校の職員室・保健室・会議室等の老朽化したエアコンの更新と理科室等の特別教室へのエアコン設置 ①設計委託料 2校（二中、四中） 8,452千円				
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	【特定財源】（市債）学校教育施設等整備事業債 6,300千円				
				総合計画 成果指標	【追】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合							
				事業成果 または 活動指標	設計の完了 目標値 年度内事業完了 実績値 単位							
事業評価												
8	数 10	項 1	目 4	学校教育課		通学・校外学習等対策事業		校外学習用バス（3台）と遠距離通学用スクールバス（27台）の運行・管理を行う。				
				予算額	(千円) 263,863	特定財源	(千円)	①スクールバス・学習バスの運転、維持管理に係る経費 ・委託料 167,803千円 ・修繕費および燃料費等維持管理費 38,821千円 ②バス駐車場の除雪対応、車両の故障時等への対応に要する経費等 1,040千円 ③定期路線バスの通学用定期代への補助（補助率10/10） ・広野小:奥井新田、四中:福岡・興屋・三本柳・杓子地区 1,195千円 ④遠距離通学運行委託料（夏季・冬季スクールバス運行等） ・夏季 鳥海小・平田小・四中・南平田小・東部中・鳥海八幡中 9,359千円 ・冬季 鳥海小・平田小・四中・南平田小・東部中・鳥海八幡中 42,427千円 ・バス運行委託料（緊急対応用） 726千円 ⑤循環バス廃止路線等に対応するための通学タクシー借上、バス停車場所借上 1,097千円				
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)					
				総合計画 成果指標	【要検討】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合							
				事業成果 または 活動指標	登下校バスの運行稼働率 目標値 100 実績値 単位 % スクールバス・学習バスの運行台数 目標値 29 実績値 単位 台							
事業評価												
9	数 10	項 1	目 4	学校教育課		学習バス・スクールバス整備事業		遠距離通学対策のための児童生徒利用スクールバス等の更新および学習バス浜風号（教育委員会主催事業、小中学校教育活動等）の更新を計画的に実施する。				
				予算額	(千円) 46,509	特定財源	(千円) 45,300	①中型バスの購入 46,509千円 ・東部中エリアと松山小エリアの2台を更新				
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	【特定財源】（市債）過疎対策事業債 37,500千円、（国）へき地児童生徒援助費等補助金 7,800千円				
				総合計画 成果指標	【要検討】教育活動に適した施設・設備が整っていると回答した保護者の割合							
				事業成果 または 活動指標	バスの購入 目標値 年度内完了 実績値 単位							
事業評価												



総合計画抜粋					令和5年度の事業実施に対する外部評価				
I 生涯を通じて学ぶことができる機会の提供、環境づくりを進めます。 ① 市民のニーズを踏まえた多様な事業の充実 ② ICTを活用した講座配信の推進					現代的諸課題への対応講座は金融に関することが中心で計4回、中高生ボランティアは事業の運営補助や学習補助などで10回の開催ということで、予定通り実施できたことは評価できると考える。高齢者対象のスマートフォン講座などは中学生のボランティアを募集し少人数グループで使い方指導をしてもらうという方法もある。以前学校のコンピューター室を使って高校生が教える年賀状作成講座を経験したことがあるが、非常に好評だった。必ずしも専門家によらなくてもできることはあるのではないかな。				
II 生涯学習施設「里仁館」、公益大等の教育機関、コミュニティ振興会との連携を図ります。 ① 各事業実施機関の講座情報の共有・発信・内容の充実					本市が「暮らしに役立つおかね講座」や「シニアのための金融講座」を主催する意義は何か。単に県からの助成を得られるから開催するのではなく、目的や趣旨、ターゲットを明確にして講座を開催すべきではないか。たとえば、20代30年代の若年世代を対象とした「持ち家を得るための財形講座」などは、地域への定着を促す上で意義のある講座となろう。市民のためにどのような講座が有益なのか、こういった視点から講座の内容等を考慮したうえで開催すべきではないか。				
III 全ての市民が地域社会の一員として社会参加できるような生きがいづくり、地域とのつながりづくりへの支援を進めます。 ① 学習の成果等を活かせる機会の創出 ② 地域行事への参加促進 ③ 地域で活躍するリーダーの育成					市民によるボランティアへの参画は、行政の補完的存在としてきめの細かい行政ニーズへ対応だけでなく、行政ニーズの汲み上げ、また、行政に対する市民の意識を高める等、様々なポジティブな効果が期待できる。一方で、市民によるボランティアは基本的に手弁当での活動であり、継続的な活動には困難をとまなう。行政による市民ボランティアサークルへの支援は、このような困難を軽減する効果があるため、積極的に進めたい施策であると考えられる。				

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① 地域の行事に参加した市民の割合	%	32.5	増加させる 42.7	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる								

個別事業										1-4-1 人生100年時代を見据えた学びの推進 / 1				
1	数	項	目	社会教育課			生涯学習施設管理運営事業			生涯学習施設の適切な管理運営を行い、安全で使いやすい施設管理を行うことで、市民の社会教育、生涯学習の推進を図る。				
				10	4	1	(千円)	特定財源	(千円)	①生涯学習施設の維持管理 ・主な生涯学習施設の維持管理 総合文化センター 83,266千円、ひらた生涯学習センター 10,116千円、出羽遊心館 16,338千円、公益研 修センター 34,618千円				
				148,857			(千円)	特定財源	(千円)	【特定財源】中央公民館、清亀園使用料 7,500千円、出羽遊心館使用料 2,200千円ほか				
				決算額			(千円)	特定財源	(千円)					
				総合計画 成果指標	地域の行事に参加した市民の割合									
事業成果 または 活動指標	生涯学習施設の年間利用者数													
	目標値	192,000	実績値		単位	人								
	目標値		実績値		単位									
事業評価														
2	数	項	目	社会教育課			生涯学習推進講座開催事業			豊かな人生を送るための講座や子どもや若者がふるさとへの誇りと愛着を育む講座を開催する。				
				10	4	1	(千円)	特定財源	(千円)	①子ども対象事業・家庭教育の事業 1,672千円 ・幼児すてっぷ出前講座 ・地域人材交流講座 ・酒田っ子はぐくみ事業 ・夏休み宿題お手伝い教室 ・酒田マリーンジュニア合唱団 ・県補助事業（親子ですくすく出前講座、地域家庭教育講座）				
				2,486			(千円)	特定財源	(千円)	②全世代対象の事業 32千円 ・酒田愛ごはん				
				決算額			(千円)	特定財源	(千円)	③課題解決・ふるさと教育など 306千円 ・鳥海山・飛島ジオパーク関連講座 ④生涯学習の成果発表 476千円 ・生涯学習まつりの実施				
				総合計画 成果指標	地域の行事に参加した市民の割合			【特定財源】（県）家庭教育推進事業費補助金 204千円、生涯学習講座受講料 51千円						
事業成果 または 活動指標	講座延べ参加者数													
	目標値	14,000	実績値		単位	人								
	参加者の事業に対する満足度													
目標値	85	実績値		単位	%									
事業評価														
	数	項	目											
							(千円)	特定財源	(千円)					
							(千円)	特定財源	(千円)					
				総合計画 成果指標										
				事業成果 または 活動指標										
目標値		実績値			単位									
目標値		実績値			単位									
事業評価														



総合計画抜粋					令和5年度の事業実施に対する外部評価				
<p>I 子どもたちがふるさと酒田に誇りと愛着を持つ教育の充実と多くの市民が地域の歴史文化に関心を持ち積極的に関わる機会の創出に努めます。</p> <p>① 地域の資源や人材を活用した学習の推進</p> <p>② 酒田の歴史・文化・資源を知る・学ぶ機会の充実</p> <p>II 本市の貴重な財産である文化財や歴史的資料の確実な継承と活用を図ります。</p> <p>① 指定文化財の現況調査と未指定文化財調査の実施</p> <p>② 国指定史跡山居倉庫の整備計画の策定</p> <p>③ 国指定史跡（旧鎗屋、城輪柵跡）の保存活用計画策定に向けた調査</p> <p>④ 総合的な計画（文化財保存活用地域計画）の策定に向けた調査体制の整備</p> <p>⑤ 重要文化的景観の指定を目指した調査の実施</p> <p>III 地域における伝統文化の継承のための支援体制を整備します。</p> <p>① 地元団体の相互交流や情報交換・発表の場としての民俗芸能フェスタへの支援</p> <p>② 後継者育成や道具不足などの課題解決に向けての民俗芸能団体の活動に対する支援</p> <p>IV 郷土史料の保管と初心者から研究者までの幅広いニーズに応える学習・研究・観光の拠点として、文化資料館（仮称）の整備を進めます。</p> <p>① 分散保管された郷土史料の集約と保存環境の整備</p> <p>② 郷土史の活用に向けたデジタル化を含めた整備の推進</p>					<p>I 個別事業の成果報告からは確認が困難であるが、旧鎗屋でのワークショップの実施等、酒田の歴史文化資源を知る学ぶ取り組みについても行われている。</p> <p>I 文化財や歴史的資料の継承と活用について、今年度は山居倉庫の整備計画の策定、旧鎗屋の修復事業や環境整備事業が行われた。また、文化財保存活用地域計画の策定に向け、指定文化財の現況調査、未指定文化財の調査等が行われている。</p> <p>III 伝統文化の継承のための支援について、民衆芸能フェスタ開催への支援や民俗芸能団体が使用する道具や衣装等への修繕への支援を行っている。ただし後継者育成への対応は遅れており、後期計画期間の残りの期間における展開を期待したい。</p> <p>IV 文化資料館の整備が完了したので、今後の学習研究観光の拠点に関する事業展開に期待したい。資料のデジタルアーカイブについても保存、活用の観点から対象の拡大が期待される。</p> <p>施策評価については成果指標に対する評価のみでなく、本施策の達成に向けどのような取り組みが行われ、その結果をどう評価し、どう対応するのかに関する記載を求めたい。記載されている情報量が少なく、PDCAサイクルが回っていることを確認することが困難である。</p> <p>【教】本施策のような児童生徒の郷土愛を育む施策は、その効果を短期で評価するのは困難であり、短期的な数値による評価に偏ることなく、長期的視点に基づく施策の展開が求められる。</p> <p>【教】点検評価報告（教育委員会）のcheckの欄にあるとおり、地域の自然文化歴史に見識を有する地域の人材を積極的に活用し、本施策を行なうことは、地域の人材の知見を地域に還元することにもなり、積極的に行なうべきものと考える。</p> <p>【教】施策の実施に際しては、たとえば授業の一環として実施する等、小中学校との連携をもっと積極的に行なってもよいのではないかと。</p>				

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値	
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	
① 文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54.0	59.0	64.0	69.0	74.0	79.0								
			93.9												
② 指定文化財数	点	391	392	394	396	398	400								
			400												
③ 民俗芸能保存会加盟数	団体	34	35	36	38	39	40								
			34												

個別事業					1-4-3 郷土愛にあふれた人材の育成 / 2					
4	款 2	項 1	目 15	文化政策課	拡充	飛島ウミネコ繁殖地再生事業	国指定天然記念物であるウミネコ繁殖地を再生するため、繁殖地機能喪失の要因調査や有識者による再生委員会を開催し、再生に向けた対策を検討・実施する。			
				予算額	(千円) 2,217	特定財源	(千円) 1,218	①飛島ウミネコ繁殖地再生委員会の開催 119千円 ・指定地機能の再生に向けた協議を行うため、年1回の委員会を開催する。		
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	②ウミネコモニタリング調査 371千円 ・飛島域内におけるウミネコの飛来数、巣数などの基礎データを定量的に把握するためモニタリング調査を実施		
				総合計画 成果指標	文化資源について誇りを持っている市民の割合			③【拡充】ネコモニタリング調査 1,727千円 ・館岩の繁殖地機能喪失の要因に挙げられているネコの捕食について、繁殖環境への影響度合いを評価するため、センサーカメラを設置し、館岩内におけるネコの実態調査を実施		
				事業成果 または 活動指標	モニタリング調査の実施			【特定財源】(国)文化財保存事業費補助金 1,108千円、(県)文化財保存事業費補助金 110千円		
事業評価		目標値		実績値	単位					
事業評価		目標値		実績値	単位					
5	款 10	項 4	目 1	社会教育課		二十歳を祝う成人の集い開催事業	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、対象者による実行委員会で協議しながら式典を開催する。			
				予算額	(千円) 1,129	特定財源	(千円)	①二十歳を祝う成人の集いの開催 1,129千円 ・令和7年5月4日(日)みどりの日に、市民会館(希望ホール)で実施予定		
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)	②成人の集い実行委員会 ・対象者たちによる自主的な運営を図るべく、市内企業や地域からの推薦によって実行委員を募集 ・実行委員会では、司会、所感発表等の式典時の役割、実行委員会企画の実施などについて話し合いを実施		
				総合計画 成果指標	文化資源について誇りを持っている市民の割合			③式典業務等のDX化 ・デジタル技術を活用し、式典の受付等の業務を効率化 ・写真配布を紙からデータダウンロードへ変更		
				事業成果 または 活動指標	対象者の式典参加率					
事業評価		目標値	70	実績値	単位 %					
事業評価		目標値		実績値	単位					
	款	項	目							
				予算額	(千円)	特定財源	(千円)			
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)			
				総合計画 成果指標						
				事業成果 または 活動指標	目標値		実績値	単位		
事業評価		目標値		実績値	単位					



総合計画抜粋		令和5年度の事業実施に対する外部評価	
I 市民の知的好奇心や生活・ビジネス・学習等における多様なニーズに応えられる図書館として機能の充実を図ります。		点検評価報告（教育委員会）に掲げるKPIの結果を見る限りすべての数値が令和1年の数値を超え、ミライニが着実に図書館としての役割を果たしている。今年度のこの数値が今後の指標値を決めるベースになると思う。延べ人数だけではなくどれくらいの市民に利用されているか、利用者の拡大を図っていく必要がある。一度足を運びこの施設を経験すると利用者は増えると思うので、利用者拡大に向けた企画を今後も検討しあるいは継続してほしい。	
① 資料の充実とレファレンスサービスの充実			
② ICTを活用した利用しやすいシステムの充実			
③ 子ども読書活動の推進		図書館が様々な機関（病院や資料館、大学等）と積極的に連携し、活動の場を展開していることは高く評価できる。図書館は、図書館内で完結することなく、他機関と連携する等、社会の中に積極的に進出し、知的拠点としての機能を積極的に担うことを期待したい。	
II 駅前の中心施設として、人が集い、交流し、賑わいを創出していくため、指定管理者との連携強化に努めます。		公益大学附属図書館と役割分担を行なっているのは、限られたリソースを有効活用する手段として有益である。今後も大学図書館と積極的に連携していくことを期待したい。	
① 指定管理者、関係機関との情報共有と連携したサービスの提供		「図書館のプロ」として図書館司書や図書室専門員の役割は重要である。このため、彼らの研修の場を積極的に設け、能力開発に努めていただきたい。	

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① 人口1人当たりの図書館入館回数	回	2	増加させる 6	増加させる	増加させる	増加させる	増加させる								

個別事業									
1	款	項	目	社会教育課			拡充	ミライニ管理運営事業	
	10	4	2	(千円)	特定財源	(千円)	市民の多様な活動および学習の場を創出し、市民の交流促進と中心市街地の活性化を図る。		
予算額				310,088		214,666	①ミライニの管理運営 247,152千円 ・市立図書館(中央図書館、八幡分館、松山分館、ひらた図書センター)、酒田駅前観光案内所、酒田駅前駐車場、ミライニ広場、酒田駅前バス停留所		
決算額					特定財源		②複合施設棟共有部の管理組合への参画、経費負担 17,700千円 ・酒田駅前光の湊A棟管理組合(A棟) 構成:酒田市、(株)月見、日新開発(株) ・ミライニパークビル管理組合(B棟) 構成:酒田市、(株)庄交コーポレーション ・酒田駅前地区管理協議会 構成:酒田市、酒田駅前光の湊A棟管理組合(A棟)、ミライニパークビル管理組合(B棟)、ポレスター酒田駅前レジデンス管理組合(C棟)		
総合計画 成果指標	人口1人当たりの図書館入館回数								
事業成果 または 活動指標	ミライニの入館者数								
	目標値	40万	実績値		単位	人	③ミライニ運営評価審議会の開催 186千円 ・年4回開催(第4次酒田市子ども読書活動推進計画策定等)		
事業評価	人口一人当たりの館外貸出冊数								
	目標値	4.3	実績値		単位	冊	④【拡充】酒田市立中央図書館東駐車場(仮称)の管理運営 1,318千円 ・駐車場(29台)の管理、防犯カメラの管理、除雪等		
【特定財源】地域づくり基金繰入金 200,000千円、ミライニ駐車場使用料 13,627千円ほか									
				(千円)	特定財源	(千円)			
予算額									
決算額					特定財源				
総合計画 成果指標									
事業成果 または 活動指標	目標値		実績値		単位				
	目標値		実績値		単位				
事業評価									
				(千円)	特定財源	(千円)			
予算額									
決算額					特定財源				
総合計画 成果指標									
事業成果 または 活動指標	目標値		実績値		単位				
	目標値		実績値		単位				
事業評価									



総合計画抜粋		令和5年度の事業実施に対する外部評価				
I 誰もが気軽にスポーツを楽しめる機会の提供と生涯スポーツの推進を図ります。 ① 体育振興会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団本部、総合型地域スポーツクラブなどの各種団体との連携による地域スポーツ活動への支援 ② ニュースポーツの普及啓発 ③ 部活動地域移行に係る各団体等との調整		スポーツに関すること全般を扱うせいか、施策は4項目だが、実施内容は多岐にわたっている。点検評価報告（教育委員会）に掲げるKPIの結果はコロナ禍の影響や人口減を考えれば参加者数や利用者数の減少はやむを得ない部分もある。しかし令和5年の成人のスポーツ実施率が50%を超えているのに対して、小学生のスポーツ実施率が低下しているのは今後を考えると対策が必要だと思ふ。またスポーツによる賑わいとまちづくりの推進に該当する地区運動会や、スポーツイベントは復活しつつあるが、市民体育祭が開催できなくなったことは残念だ。他ではあまり見かけない本市を特徴づけるイベントで、地域間交流や地域の一体感の醸成に効果があるのではと思う。今後ますます人口規模が縮小する中、酒田市を特徴づけ市民が一体となる機会をどう作っていくのか課題だ。また安全安心なスポーツ活動のための環境整備について既存の体育施設の整備改修事業は本年度内で完了するようだが、人口減も見据え交流人口の増加を考えると、どんな施設をどう整備していくのか、将来を見据えた計画を立てていく必要がある。				
II 全国レベルで活躍する選手を育成し、市民のスポーツへの興味と関心を高めます。 ① 指導者育成の支援 ② スポーツ団体等と連携した指導者・選手の育成		市民がスポーツに気楽に触れ合う機会を確保することは、市民の健康向上に直結するもので、非常に重要な施策であるとする。各種大会やイベントの開催は、市民がスポーツに親しむよい機会となるはずであり、積極的に実施されることを期待したい。				
III 魅力あるスポーツイベントによる交流人口の拡大と賑わいとまちづくりを推進します。 ① 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会等の開催 ② 各種スポーツイベントへの支援 ③ 各種全国大会、東北大会等の誘致 ④ スポーツボランティアの拡充		大学生と連携したスポーツ鬼ごっこ取組みは、子どもたちにも大学生にもプラスの影響があり、若い「世代間交流」となっているようで、非常に優れた施策であると理解している。引き続き、取り組まれることを期待したい。				
IV 人口減少に伴う適正な体育施設の配置とユニバーサルデザインに配慮した安全で快適なスポーツ環境を提供するため、施設の適正な管理と計画的な整備・改修を進めます。 ① 国体記念体育館の改修、八幡体育館の整備 ② 利用者のニーズを考慮した施設修繕、整備の実施		マラソン大会は、コースの見直しやエイド等のランナーへのサービス向上等、大会の魅力の向上に着手しているとのこと、頼もしい限りである。関係機関との調整等、困難なこともあるが、酒田の魅力を伝えられる大会となるよう、是非とも尽力いただきたい。				

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① スポーツ行事への参加者数	人	21,075	24,436	27,797	31,158	34,519	37,880								
			33,981												
② 【追】 スポーツ施設の利用者数	人	527,257	-	-	766,048	767,036	768,024								
			527,257												
③ 【追】 成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	57.8	-	-	60.2	61.4	62.6								
			57.8												

個別事業										1-4-5 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進 / 1																			
1	数	10	項	5	目	1	スポーツ振興課				トップアスリート育成支援事業				(公財) 酒田市スポーツ協会加盟団体等と連携して、競技力向上とトップアスリートの育成を支援する。														
							(千円)				(千円)																		
							予算額				14,006				特定財源														
							決算額								特定財源														
							総合計画 成果指標				スポーツ行事への参加者数								①各種大会出場選手への激励金を贈呈 1,780千円 ②県駅伝酒田飽海地区実行委員会の活動に対し負担金を支出 1,200千円 ③酒田市スポーツ協会事業に対し補助金を支出 10,526千円 ・(公財) 酒田市スポーツ協会の活動に対して補助金を交付し、各種全国大会等に出場可能なトップアスリートの育成を支援 ④指導者養成研修会の実施(委託先:(公財) 酒田市スポーツ協会) 300千円 ⑤酒田市武道団体協議会演武大会に対し、補助金を支出 100千円										
事業成果 または 活動指標				国民スポーツ大会への出場種目数																									
				目標値				20				実績値				単位				種目									
				目標値								実績値				単位													
事業評価																													
2	数	10	項	5	目	1	スポーツ振興課				生涯スポーツ推進事業				市民が参加しやすいスポーツイベントを開催するとともに、スポーツ推進委員の資質向上を図り、多世代が運動しやすい環境を整備する。														
							(千円)				(千円)																		
							予算額				6,808				特定財源														
							決算額								特定財源														
							総合計画 成果指標				スポーツ行事への参加者数								①スポーツ推進委員の活動に対し負担金を支出 2,110千円 ・推進委員の研修、会報誌の発行、地区でのニュースポーツ講習会等の開催 ②ラン&ウォークイベント(5月、10月の年2回のオンラインイベント)への参加 80千円 ・イベント参加者のうち、上位者への賞品 ③市体育大会に対し負担金を支出 780千円										
事業成果 または 活動指標				ラン&ウォークイベントの参加者数																									
				目標値				300				実績値				単位				人									
				目標値								実績値				単位													
事業評価																													
3	数	10	項	5	目	1	スポーツ振興課				拡充	スポーツツーリズム推進事業				スポーツの持つ力を最大限に活かし、スポーツを通じた交流人口の拡大を図るとともに、スポーツによる賑わいとまちづくりを推進する。													
							(千円)					(千円)																	
							予算額				16,047				特定財源	10,001													
							決算額								特定財源														
							総合計画 成果指標				スポーツ行事への参加者数									①【拡充】湊酒田つや姫ハーフマラソン大会実行委員会に対し負担金を支出 15,927千円 ②スポーツボランティア会事務局謝金 20千円 ・市内で開催されるスポーツイベントをサポート ③モルック全国大会へ補助金を支出 100千円 【特定財源】日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金 8,000千円、さかた広援基金繰入金 2,000千円ほか									
事業成果 または 活動指標				つや姫マラソンにおける交流人口(市外・県外)																									
				目標値				1,100				実績値				単位				人									
				目標値								実績値				単位													
事業評価																													

個別事業										1-4-5 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進 / 2															
4	数	10	項	5	目	1	スポーツ振興課			スポーツによる地域コミュニティ活性化事業			多くの市民等が参加できるスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた世代間交流や地域の一体感の醸成、災害時にも支え合う地域コミュニティの維持・再生を図る。												
							予算額			600			特定財源			①スポーツフェスティバル実行委員会に対し負担金を支出 500千円 ・ニュースポーツの普及に加え、市民が一堂に会し、家族やサークル仲間、地域住民等みんなでスポーツを楽しむ機会を創出									
							決算額						特定財源			・会場:東北エプソン飯森山公園 (INPEX酒田アリーナ、東北エプソン飯森山多目的グラウンド) ・種目:モルック、ポッチャ、輪投げ、フロアカーリング等									
							総合計画 成果指標			スポーツ行事への参加者数			【追】成人の週1回以上のスポーツ実施率			②酒田市駅伝競走大会実行委員会に対し負担金を支出 100千円 ・地域の連帯感の醸成と参加者同士の交流を図り、明るく住みよいまちづくりを推進するとともに、市民の健康保持と体力づくりを推進するため、光ヶ丘クロスカントリーコースを会場として駅伝大会を実施									
							事業成果 または 活動指標			イベントの参加者数			目標値 500 実績値 単位 人												
事業評価																									
5	数	10	項	5	目	1	スポーツ振興課			体育施設整備事業			体育施設の改修や競技用備品の整備を行う。												
							予算額			45,372			特定財源			①施設改修 35,249千円 ・光ヶ丘プールサブプールデッキ材交換工事 13,359千円 ・松山スキー場シュレップリフト改修工事[継続費: R7~8年度 54,725千円] 21,890千円									
							決算額						特定財源			②備品整備 10,123千円 ・光ヶ丘プール屋外子供プール側溝蓋一式、光ヶ丘野球場用外野フェンス80台、陸上競技場公認認定用必要備品ほか									
							総合計画 成果指標			【追】スポーツ施設の利用者数						【特定財源】(市債) 過疎対策事業債 21,800千円、(市債) 旧合併特例事業債 12,600千円、ネーミングライツ料収入 3,850千円ほか									
							事業成果 または 活動指標			施設改修工事			目標値 年度内完成 実績値 単位												
事業評価																									
6	数	10	項	5	目	1	スポーツ振興課			八幡体育館改築事業			耐震診断を実施した結果、耐震改修工事が必要とされた八幡体育館の改築工事を行う。												
							予算額			529,968			特定財源			①八幡体育館改築 528,026千円 ・八幡体育館改築工事[継続費: R6~7年度 829,158千円] 497,494千円 ・八幡体育館外構工事[継続費: R7~8年度 38,610千円] 15,444千円 ・八幡体育館外構工事(修道館解体)[継続費: R7~8年度 37,719千円] 15,087千円									
							決算額						特定財源												
							総合計画 成果指標			【追】スポーツ施設の利用者数						【特定財源】(市債) 過疎対策事業債 528,300千円									
							事業成果 または 活動指標			八幡体育館改築工事進捗状況			目標値 工事完成 実績値 単位												
事業評価																									

個別事業					1-4-5 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進 / 3									
7	10	5	1	スポーツ振興課	光ヶ丘野球場改修事業	光ヶ丘野球場のグラウンド改修工事を行う。								
				<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>(千円) 613,673</td> <td>特定財源</td> <td>(千円) 613,673</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>(千円)</td> <td>特定財源</td> <td>(千円)</td> </tr> </table>		予算額	(千円) 613,673	特定財源	(千円) 613,673	決算額	(千円)	特定財源	(千円)	①光ヶ丘野球場改修 613,073千円 ・光ヶ丘野球場および屋内練習場人工芝グラウンド改修工事 599,000千円 ・光ヶ丘野球場エアコン設置およびトイレ改修工事 14,073千円
				予算額		(千円) 613,673	特定財源	(千円) 613,673						
				決算額		(千円)	特定財源	(千円)						
				総合計画 成果指標		【追】スポーツ施設の利用者数			【特定財源】(国) 社会資本整備総合交付金 209,650千円、(市債) 公共事業等債 197,400千円、公共施設等整備基金繰入金 206,623千円					
				事業成果 または 活動指標		光ヶ丘野球場・屋内練習場人工芝グラウンド改修工事進捗状況								
<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>工事完成</td> <td>実績値</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	目標値	工事完成	実績値	単位										
目標値	工事完成	実績値	単位											
<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	目標値	実績値	単位											
目標値	実績値	単位												
事業評価														
8	10	5	1	スポーツ振興課	テニスコート改修事業	国体記念テニスコートおよび光ヶ丘テニスコートの人工芝張替、フェンス改修工事を行う。								
				<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>(千円) 212,249</td> <td>特定財源</td> <td>(千円) 212,249</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>(千円)</td> <td>特定財源</td> <td>(千円)</td> </tr> </table>		予算額	(千円) 212,249	特定財源	(千円) 212,249	決算額	(千円)	特定財源	(千円)	①テニスコート改修工事 212,249千円 ・国体記念テニスコート人工芝張替工事 109,205千円 ・国体記念テニスコートフェンス改修工事 5,456千円 ・光ヶ丘テニスコート人工芝張替工事[継続費：R7~8年度 123,263千円] 73,958千円 ・光ヶ丘テニスコートフェンス改修工事 23,630千円
				予算額		(千円) 212,249	特定財源	(千円) 212,249						
				決算額		(千円)	特定財源	(千円)						
				総合計画 成果指標		【追】スポーツ施設の利用者数			【特定財源】(市債) 公共施設等適正管理推進事業債 164,000千円、日本スポーツ振興センタースポーツ振興<じ助成金 30,000千円、公共施設等整備基金繰入金 18,249千円					
				事業成果 または 活動指標		改修工事完成								
<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>工事完成</td> <td>実績値</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	目標値	工事完成	実績値	単位										
目標値	工事完成	実績値	単位											
<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	目標値	実績値	単位											
目標値	実績値	単位												
事業評価														
				<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>(千円)</td> <td>特定財源</td> <td>(千円)</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>(千円)</td> <td>特定財源</td> <td>(千円)</td> </tr> </table>	予算額	(千円)	特定財源	(千円)	決算額	(千円)	特定財源	(千円)		
				予算額	(千円)	特定財源	(千円)							
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)							
				総合計画 成果指標										
				事業成果 または 活動指標										
<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	目標値	実績値	単位											
目標値	実績値	単位												
<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	目標値	実績値	単位											
目標値	実績値	単位												
事業評価														



総合計画抜粋		令和5年度の事業実施に対する外部評価	
<p>I 子どもの命と人権を守るため、児童虐待の早期発見、子どもの貧困やヤングケアラー等の状況を把握し、子どもの意見と意向を勘案した適切な対応を行うよう、関係機関との連携強化、専門相談の体制強化を図ります。</p> <p>① 児童虐待の防止と早期発見、早期対応</p> <p>② 子ども食堂や無料学習塾等、地域での子育て支援活動の促進</p> <p>II 全ての妊産婦、子育て世帯、子どもの包括的な相談支援を行う機関を設置し、子どもの権利の擁護に努めます。</p> <p>① こども家庭センターの設置</p>	<p>I 児童虐待の防止と早期発見、早期対応については、成果指標も達成されており、充実した取り組みが確認できる。</p> <p>I 子ども食堂や無料学習塾等、地域での子育て支援活動の促進については、一定の成果は確認できものの、さらなる取り組みに期待したい。</p> <p>I こども基本法やこども大綱に基づき、子どもの人権を尊重し生命を守るため、関係機関との連携を強化するとともに、専門相談体制を強化する取り組みに期待したい。</p> <p>I 子どもの権利条約の子どもの意見表明権を重視し、子どもアドボカシーの視点に立った支援に努めてほしい。</p> <p>II 子ども家庭センターを拠点とした子どもの権利の擁護と子どもの最善の利益を保障する取り組みに引き続き期待したい。</p> <p>II 市民にとって拠りどころとなるような、寄り添い支援、伴走支援の充実に期待したい。</p> <p>II 子ども家庭センター設置による効果の評価検証を多角的に実施してほしい。</p>		

成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	成果指標	単位	基準値	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
			目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値				目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値【目安】	目標値
			実績	実績	実績	実績	実績				実績	実績	実績	実績	実績
① 虐待相談に対し速やかに対応（48時間以内／国の児童相談所運営指針）した件数の割合	%	100	100	100	100	100	100								
② 希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合(再掲)	%	73.0	76.5	80.0	81.6	83.2	84.8								
			59.1												

個別事業												
4	款 10	項 2	目 2	学校教育課			再掲	小学校就学援助事業			学校教育法に基づき、経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費等の一部を支給する。	
				予算額	(千円) 25,038	特定財源		(千円) 13	事業名を「要保護及び準要保護児童援助事業」から「小学校就学援助事業」に変更			
				決算額	(千円)	特定財源		(千円)	①支援の対象となる経費 25,038千円 ・学用品費、新入学児童学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費、医療費、学校給食費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費			
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準点 希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合			【特定財源】(国) 要保護児童援助費補助金 13千円				
				事業成果 または 活動指標	就学援助率							
				事業評価	目標値 10 実績値 単位 %							
5	款 10	項 3	目 2	学校教育課			再掲	中学校就学援助事業			学校教育法に基づき、経済的な理由によって就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の一部を支給する。	
				予算額	(千円) 30,139	特定財源		(千円) 39	事業名を「要保護及び準要保護児童援助事業」から「中学校就学援助事業」に変更			
				決算額	(千円)	特定財源		(千円)	①支援の対象となる経費 30,139千円 ・学用品費、新入学児童学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費、医療費、学校給食費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費			
				総合計画 成果指標	標準学力検査における全国標準点 希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合			【特定財源】(国) 要保護児童援助費補助金 39千円				
				事業成果 または 活動指標	就学援助率							
				事業評価	目標値 10 実績値 単位 %							
6	款 10	項 2	目 2	学校教育課			再掲	小学校特別支援教育就学奨励事業			小学校の特別支援学級に就学する児童の保護者に対し必要な経費の一部を支援する。	
				予算額	(千円) 3,306	特定財源		(千円) 1,652	①特別支援学級へ就学するために必要な経費の一部を所得区分に応じて支援			
				決算額	(千円)	特定財源		(千円)	・対象経費:学校給食費、修学旅行費、学用品費、新入学児童学用品費、通学費、校外活動費、体育実技用具費、オンライン学習通信費			
				総合計画 成果指標	希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合			【特定財源】(国) 特別支援教育就学奨励費補助金 1,652千円				
				事業成果 または 活動指標	対象者に対するの援助率							
				事業評価	目標値 100 実績値 単位 %							

個別事業											
7	10	3	2	学校教育課			中学校特別支援教育就学奨励事業			再掲 中学校の特別支援学級に就学する児童の保護者に対し必要な経費の一部を支援する。 ①特別支援学級へ就学するために必要な経費の一部を所得区分に応じて支援 ・対象経費:学校給食費、修学旅行費、学用品費、新入学児童学用品費、通学費、校外活動費、体育実技用具費、オンライン学習通信費	
				予算額	(千円) 3,192	特定財源	(千円) 1,595				
				決算額	(千円)	特定財源	(千円)				
				総合計画 成果指標	希望どおりに子育て支援事業を利用できたと感じる割合			【特定財源】(国)特別支援教育就学奨励費補助金 1,595千円			
				事業成果 または 活動指標	対象者に対するの援助率						
					目標値	100	実績値	単位	%		
				事業評価							
款	項	目									
予算額	(千円)	特定財源	(千円)								
決算額	(千円)	特定財源	(千円)								
総合計画 成果指標											
事業成果 または 活動指標	目標値	実績値	単位								
	目標値	実績値	単位								
事業評価											
款	項	目									
予算額	(千円)	特定財源	(千円)								
決算額	(千円)	特定財源	(千円)								
総合計画 成果指標											
事業成果 または 活動指標	目標値	実績値	単位								
	目標値	実績値	単位								
事業評価											

議第 6 号

酒田市学校給食共同調理場設置条例の廃止について

酒田市学校給食共同調理場設置条例を廃止する条例の制定について、酒田市長より意見を求められているので、同意するものとする。

令和 7 年 2 月 1 2 日提出

酒田市教育委員会
教育長 赤坂 宜紀

酒田市学校給食共同調理場設置条例を廃止する条例

酒田市学校給食共同調理場設置条例（平成 1 7 年条例第 1 8 8 号）は、廃止する。

附 則

この条例は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

（提案理由）

酒田市学校給食共同調理場の所期の目的を達成したため、条例を廃止するものである。

議第 7 号

酒田市学校給食共同調理場設置条例施行規則を廃止する規則について

酒田市学校給食共同調理場設置条例施行規則を廃止する規則を次のように制定する。

令和 7 年 2 月 1 2 日提出

酒田市教育委員会
教育長 赤坂 宜紀

酒田市学校給食共同調理場設置条例施行規則を廃止する規則

酒田市学校給食共同調理場設置条例施行規則（平成 1 7 年教育委員会規則第 1 8 号）は、廃止する。

附 則

この条例は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

（提案理由）

酒田市学校給食共同調理場設置条例の廃止に伴い、同施行規則を廃止するものである。

その他（各課等からの報告）【報告事項1】

件名	第65回酒田市教育委員会科学賞受賞作品について			
担当課	学校教育課			
1 応募作品	50点 79名（小学校38点、中学校8点、高等学校4点）			
2 審査員	教育研修センター外部講師、市内小中学校代表者で構成される10名			
3 審査会	令和6年12月2日 審査打合わせ 令和7年1月15日 一次審査 令和7年1月22日 本審査			
4 表彰式	令和7年2月26日 公益ホール			
5 受賞作品	栄誉賞 1点 科学賞 1点 奨励賞 2点 努力賞 7点			
賞別	研究題	氏名	学校名	学年
栄誉賞	ストロー飛行機を科学する 2nd シーズン よく飛ぶストロー飛行機を作ろう！調べよう！九年目 The Final	池田 蒼空 池田 滯央	鳥海八幡中	3
科学賞	パラシュートの研究 6年目 ～長く浮く条件を求めて～	佐藤 壮	広野小	6
奨励賞	ダンゴムシの研究（6年目） ～触角の重要性について～	齋藤 希羽	松山小	6
奨励賞	液体の光り方研究（4年目） —いろいろな液体によるウミホタルの光り方—	信夫遥一郎	八幡小	5
努力賞	庄内柿による柿渋の生産方法に関する研究	渋谷耕太郎 白旗 隼和	一中	2
努力賞	夏の雲と空 3年目 ～天気を予想できるか？ 風との関わり～	遠藤 朝旦	亀ヶ崎小	4
努力賞	あげはちょうのかんさつ日記	佐藤 遥斗	宮野浦小	4
努力賞	光をもとめるしよく物 VS 重力にさからうしよく物	折居 漣	亀ヶ崎小	3
努力賞	卵のヘルメット決定戦～1番有効な緩衝材はどれか～	後藤 彩李	南平田小	3
努力賞	まびきのひみつ～2年目～	小松 晶穂	若浜小	2
努力賞	トンボちょうさ （2年目）	笹原 聡	松原小	2

その他（各課等からの報告）【報告事項2】

件名	「図書館を使った調べる学習活動賞」受賞について
担当課	社会教育課（電話24-2992）
<p>【報告の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第28回図書館を使った調べる学習コンクール」（全国コンクール）において、酒田市立図書館が「図書館を使った調べる学習活動賞」を受賞しました。 ・全国コンクールに出品した市内小学生の2作品が入選しました。 <p>1 第1回 酒田・飽海 図書館を使った自由研究コンクール（地域コンクール）を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催／酒田市立図書館 ・後援／酒田市教育委員会、遊佐町教育委員会、東日本旅客鉄道株式会社酒田駅、公益財団法人 図書館振興財団 ・応募期間／2024年8月1日（木）～9月10日（火） ・応募総数／22点（酒田市16点、遊佐町6点） ・入賞作品／7点（教育長賞1点、ミライニ賞1点、佳作5点） 教育長賞、ミライニ賞を受賞した2点は全国コンクールへ出品 <p>2 第28回図書館を使った調べる学習コンクール（全国コンクール）での受賞について</p> <p>(1) 審査の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政・学校等との協力と首長部局の理解 ・地域団体・企業等との連携 ・参加者への積極的な取組 ・コンクールの発展的な利用の視座 ・課題認識 等 <p>(2) 審査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コンクール数は167と過去最高を記録 ・提出した報告書により第一次・第二次審査を経て、富谷市、酒田市立図書館、入間市教育委員会、豊田市、茅野市の5地域が最終候補に選出 ・総務大臣賞 富谷市 ・図書館を使った調べる学習活動賞 酒田市立図書館、入間市教育委員会 <p>【参考】 候補に残った豊田市と茅野市は昨年度に茅野市が総務大臣賞、豊田市も活動賞を受賞（豊田市は過去に総務大臣賞も受賞） コンクール全体の発展への期待を込め、酒田・入間両コンクールが受賞と決定した。</p> <p>(2) 受賞に至る経緯・講評等</p> <p>山形県酒田市の酒田市立図書館主催「酒田・飽海（あくみ）図書館を使った自由研究コンクール」は今回初の開催だったが、隣接する遊佐（ゆざ）町と連携など、自治体の枠を超えたコンクールの展開に挑戦していること、活動報告が充実しており、新図書館「ミライニ」とのコラボレーションが活発で、しかも学校やJR東日本酒田駅など外部組織・地域施設との連携も顕著であることが評価され受賞となったものです。</p>	

その他（各課等からの報告）【報告事項3】

件名	図書館「私のお薦め本紹介企画」について
担当課	社会教育課（電話24-2992）
<p>【報告の概要】</p> <ul style="list-style-type: none">令和7年度より「From My Bookshelf（仮称）」と題し、様々な分野で活躍する方から自分のお気に入りの本を紹介していただく企画を開始します。 <p>1 期待される効果</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 地域社会の読書文化の促進(2) 図書館や書店の活性化(3) 地域住民とのつながりの強化(4) パートナリシップ（宣伝、魅力発信の相乗効果） <p>2 想定している紹介者</p> <ul style="list-style-type: none">・市長、教育長、副市長・スポーツ選手・会社経営者、ビジネスパーソン・街づくりパーソン・地域おこし協力隊 <p>3 展示方法</p> <ul style="list-style-type: none">・紹介者のプロフィールと本の紹介文を本と並べて展示します。・展示スペースなどの詳細については、現在検討段階です。	

その他（各課等からの報告）【報告事項4】

件 名	「令和7年酒田市二十歳を祝う成人の集い」について
担 当 課	社会教育課（電話24-2992）
<p>【報告の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記念写真の配布方法について、写真（紙）の配布からデータの配布に変更します。 ・ 式典出席の受付方法について、ハガキによる受付からWEB上の受付に変更します。 <p>1 記念写真について</p> <p>(1) 背 景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DXを活用し写真の配布方法を見直すこととしました。 ・ 県内では写真撮影および写真の配布を行っていない自治体も多く、写真の撮影や配布に関与していない自治体もあります（企業が写真を撮影し、希望者に販売するケース）。 <p>(2) 効 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の利便性向上（データのほうが写真を使用・保存しやすい） ・ 予算の削減（写真の現像・発送費用が削減できる） <p>2 式典出席の受付方法について</p> <p>(1) 背 景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記念写真をデータで配布するため、本人確認や当日の出席確認を兼ねたフォームを作成する必要があり、併せて出席についてもWEB上から受け付けするものです。 <p>(2) 目 的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当日の会場へのスムーズな入場（スマホ画面を見せて入場） ・ 参加者集計の簡略化（デジタルデータから集計可能） <p>(3) 受付方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前にWEB上から登録を行います。 ・ 登録者が式典当日、会場に掲示するQRコードを読み取ります。 ・ 出席者のみに写真データのダウンロードを許可します。 <p>3 補 足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WEBからの手続きが困難な方、事前の受付を忘れた方は、式典当日に会場に対応します。 ・ 令和8年の成人の集いからは、ハガキの発送を行わない予定です。 	

その他（各課等からの報告）【報告事項5】

件 名	第4次酒田市子ども読書活動推進計画策定について
担 当 課	社会教育課（電話24-2992）
<p>【報告の概要】</p> <p>「第3次酒田市子ども読書活動推進計画」の計画期間が令和7年度末に終了するため、次期計画となる「第4次酒田市子ども読書活動推進計画」を策定するものです。</p> <p>1 計画策定の趣旨</p> <p>国の基本理念では、「子ども（おおむね18歳以下の者）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう環境の整備が推進されなければならない」としています。</p> <p>本計画は、子どもの読書活動を推進するための施策を総合的かつ計画的に推進し、子どもの健やかな成長に資することを目的とし、本市としての方向性や取り組みを示すものです。</p> <p>現状として、近年のインターネット・SNS等の情報メディアの発達・普及による社会のデジタル化の進展や新型コロナウイルスの感染拡大により、子どもを取り巻く環境は大きく変化しており、読書活動にも影響を与えたと考えています。</p> <p>多様な読書環境に身を置く子どもたちに対し、読書機会の確保やデジタル社会に応じた読書環境の整備などを推進していきます。また、家庭、地域、学校・園等社会全体で、自ら本に親しむ、読書好きな子どもを育み、子どもの豊かな心の育成を目指し策定いたします。</p> <p>2 計画の位置づけ</p> <p>「子ども読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定では、市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策の計画策定の努力義務が定められています。</p> <p>本計画は、国の「第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（令和5年3月策定）」と県の「第4次山形県子ども読書活動推進計画（令和6年3月策定）」を基本とし、酒田市総合計画（後期計画）、第2期酒田市教育振興基本計画（後期計画）との整合性を図りながら策定するものとします。</p> <p>3 計画の推進期間</p> <p>令和8年度から令和11年度までの4年間</p> <p>4 計画策定のスケジュールについて</p> <p>別紙1のとおり</p> <p>5 アンケート調査の実施について</p> <p>別紙2のとおり</p>	

第4次酒田市子ども読書活動推進計画の策定スケジュールについて

年度	月	内容	作業	会議	報告・説明等
令和6年度	12	他市の策定状況調査			
	1	成果・課題の検証 アンケート調査項目（案）の検討			
	2	成果・課題の検証 アンケート調査実施	・アンケート調査の発送 （2月下旬～3月上旬）	令和6年度 第2回ミライニ運営審議会	【教育委員会定例会報告】 ・計画策定の概要説明 ・アンケート調査の実施 【R6第2回ミライニ運営審議会】 ・計画策定の概要説明 ・アンケート調査項目（案）検討 【小・中学校校長会へお願い】 ・アンケート調査実施の依頼 小学5年生、中学2年生 保護者（対象児童生徒） ・計画策定の概要説明
	3	成果・課題の検証 アンケート調査実施・集計			
令和7年度	4	アンケート調査集計 計画素案の検討	・アンケート調査結果検証		
	5	計画素案の検討	・重点項目の検討		
	6	関係各課へ素案内容確認 計画素案の検討	・アンケート調査結果報告 ・第3次の検証 ・素案の検討・修正	第1回ワークショップ	
	7	計画素案の完成		令和7年度 第1回ミライニ運営審議会	【R7第1回ミライニ運営審議会】 ※教育長へ説明 【教育委員会定例会報告】 ・計画の概要説明 ・第3次成果・課題の検証 ・アンケート調査結果報告 ・計画素案の説明・検討
	8	計画案の検討	・計画素案修正	第2回ワークショップ	【総務常任委員協議会報告】 ・計画の概要説明
	9	計画案の検討			
	10	計画案の完成		令和7年度 第2回ミライニ運営審議会	【R7第2回ミライニ運営審議会】 ・計画案報告・検討（書面）
	11	庁内パブコメの実施 最終案の検討	・計画案修正		※教育長へ計画案の説明 【教育委員会勉強会】 【社会教育委員へ郵送】 【総務常任委員協議会報告】 ・パブコメ前最終案報告
	12	最終案の完成 パブリックコメント実施		令和7年度 第3回ミライニ運営審議会	【R7第3回ミライニ運営審議会】 ・最終案報告（書面） ※教育長へパブコメ前最終案報告
	1		・パブコメ結果検討		
	2	最終案決定 計画完成	・最終案修正	令和7年度 第4回ミライニ運営審議会	※教育長へパブコメ後最終案の説明 【R7第4回ミライニ運営審議会】 【教育委員会定例会報告】 【総務常任委員会協議会報告】 ・パブコメ後最終案＝計画の報告
	3	議決			【教育委員会定例会】 ・決議
3 ～ 4	議決後、印刷～配布 （紙ベース及びデータ送付） HP公開				

※ワークショップ・会議等には指定管理者からも参加していただく

令和7年2月12日

社会教育課作成

「第4次酒田市子ども読書活動推進計画」策定にかかるアンケート調査の実施について

第4次酒田市子ども読書活動推進計画を策定するにあたり、子どもの読書に関する現状やニーズ等を把握するためにアンケート調査を実施するものです。

1 アンケート調査の目的

現行の第3次酒田市子ども読書活動推進計画（令和3年度策定）が令和7年度に計画期間が終了することから、継続した取り組みを図るために、新たに第4次酒田市子ども読書活動推進計画を策定します。家庭や地域においてどのような取り組みや環境が必要であるかについて、読書に関する現状とニーズを把握することを目的に行うものです。

2 調査対象

- ・市内小学5年生の児童 約680名
- ・市内中学2年生の生徒 約749名
- ・対象児童・生徒の保護者

3 アンケート調査の実施方法

- ・小・中学生はタブレット端末によるアンケート調査を実施
- ・児童生徒の保護者は各小中学校における連絡用メールによるアンケート調査を実施
- ・KINTONE でアンケートフォームを作成、データの集計を行う

4 アンケート調査内容

別紙のとおり

5 アンケート調査実施期間（予定）

令和7年2月28日（金）から令和7年3月10日（月）

6 アンケート調査実施機関

酒田市教育委員会社会教育課

7 アンケート調査実施スケジュール

月	内容	会議	報告・説明等
2月		令和6年度 第2回ミライニ運営審議会	・アンケート調査項目（案）検討
2月		酒田市小学校校長会 酒田市中学校校長会	・アンケート調査実施の依頼 ・計画策定の概要説明
2月下旬～ 3月上旬	アンケート調査実施		
4月	アンケート調査集計		
5月	アンケート調査結果検討		
6月	アンケート調査結果報告		

読書アンケート（案）

このアンケートは、みなさんがいつもどのように本を読んでいるかをアンケートして、本に親しみ、読書の習慣を身につけることをみんなで考えるために行うものです。

注意：このアンケートでの「本」には、マンガや雑誌、電子書籍もふくみます。

問① あなたは本を読むのが好きですか。あてはまるもの1つを選んでください。

- ア 好き
イ どちらかという人喜欢
ウ あまり好きではない
エ 好きでない

問②-1 家でどのくらい本を読みますか。あてはまるもの1つを選んでください。

- ア 毎日読む
イ ときどき読む
ウ あまり読まない
エ まったく読まない

問②-2 ウ「あまり読まない」、エ「まったく読まない」と答えた人に聞きます。

その理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 勉強や塾、スポ少などでいそがしくて、本を読む時間がないから
イ テレビを見たりゲームをしたりするので、本を読む時間がないから
ウ 外で遊ぶので、本を読む時間がないから
エ スマートフォンやタブレット端末などで遊ぶので、本を読む時間がないから
オ 読みたい本が近くにないから
カ 本を読みたいと思わないから
キ どんな本を読んだらいいのかわからないから
ク その他

問③ 家で平均して1か月に何冊くらい本を読みますか。

- ア 0冊 イ 1冊～2冊 ウ 3冊～4冊 エ 5冊～6冊 オ 7冊～8冊
カ 9冊～10冊 キ 11冊以上

問④ 小学校に入る前や小学校低学年の頃、家族から本を読んでもらったことがありますか。

あてはまるもの1つを選んでください。

- ア よく読んでもらった
イ ときどき読んでもらった
ウ あまり読んでもらわなかった
エ まったく読んでもらわなかった

問⑤ 読み聞かせしてもらった本や、自分で読んだ本の内容など本に^{かんけい}関係のあることで、家族とお話するときがありますか。あてはまるもの1つ^{えら}を選んでください。

- ア よくある イ ときどきある
ウ ほとんどない エ まったくない

問⑥-1 本のあるところ（学校図書室・市立図書館・本屋・店の本コーナーなど）をどのくらい利用していますか。あてはまるもの1つ^{えら}を選んでください。

- ア 1週間に1回以上利用する イ 1か月に1～2回利用する
ウ ほとんど利用しない（1年に1～5回くらい） エ まったく利用しない

問⑥-2 ウ「ほとんど利用しない」、エ「まったく利用しない」と答えた人に聞きます。

その理由は何ですか。あてはまるものすべて^{えら}を選んでください。

- ア 読みたい本がないから イ 何を^{りゆう}読んでいいかわからないから
ウ 新しい本がないから エ 本を^か借りるのがめんどうだから
オ スポ少や委員会で行く時間がないから カ 行きたい時間に図書室が開いてないから
キ だれも^つ連れて行ってくれないから ク 本を読みたいと思わないから
ケ その他

問⑦ 本を借りる（買う）とき、何かを^{さんこう}参考にして本を選んでいきますか。

あてはまるものすべて^{えら}を選んでください。

- ア 学校や市立図書館からの「図書館だより」などを参考にしてている
イ 学校図書室や市立図書館、本屋などのおすすめ本コーナーを参考にしてている
ウ 雑誌、テレビ、本屋などの本のランキングを参考にしてている
エ 学校図書室や市立図書館の本のランキングを参考にしてている
オ 教科書で^{しょうかい}紹介されている本を参考にしてている
カ 何も参考にしていない

問⑧-1 ^{でんししょせき}電子書籍（タブレットやスマホなどで読む本）はどれくらい読みますか。

あてはまるものすべて^{えら}を選んでください。

- ア ^{でんししょせき}電子書籍は読んだことがない。
イ ^{でんししょせき}電子書籍は何回か読んだことがあるが、いつもは紙の本を読んでいる。
ウ ^{でんししょせき}電子書籍と紙の本は同じくらい読んでいる。
エ ^{でんししょせき}電子書籍のほうが紙の本よりも多く読んでいる。

問⑧-2 イ、ウ、エと答えた人に聞きます。

電子書籍でんししょせきを読むきっかけについて、あてはまるものすべてえらを選んでください。

- ア 家族が読んでいたから。
- イ 友達や知り合いが読んでいたから。
- ウ 学校の授業などで興味を持ったから。
- エ インターネットで知り、興味を持ったから。

アンケートはこれで終わりです。ご協力きょうりょくありがとうございました。

問④-3 ウ「あまりしない（しなかった）」、エ「まったくしない（しなかった）」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 読み聞かせをする時間がないから
- イ 子どもが読み聞かせをせがまないから
- ウ どんな本を読み聞かせしたらいいかわからないから
- エ 読み聞かせをする本が家にないから
- オ 子どもはテレビやゲームの方が好きだから
- カ 子どもは外で遊ぶのが好きだから
- キ 子どもは勉強や習い事で忙しいから
- ク ほかの家族（祖父母や年長の子）が読み聞かせをしてくれるから
- ケ その他

問⑤ 読み聞かせした本や、自分や子どもが読んだ本の内容など本に関係のあることで、家族でお話をするときがありますか。あてはまるもの1つを選んでください。

- ア 1週間に1回以上ある
- イ 1か月に1～2回ある
- ウ ほとんどない（1年に1～5回くらい）
- エ まったくない

問⑥ 子どもの成長にとって読書が大切だといわれています。ご家庭でどのようなことに気を配っていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 本の読み聞かせをする
- イ 子どもが本を読んだら誉める
- ウ 子どもが読んだ本を話題にする
- エ 図書館や本屋などに連れて行く
- オ おはなし会や読み聞かせに連れて行く
- カ 自分が読書をする姿を見せる
- キ 家に本をそろえる（プレゼントする）
- ク 家庭で読書の時間をつくる
- ケ 特になにもしていない
- コ その他

問⑦ 家読（うちどく）は、読書をきっかけに家族のコミュニケーションを大切にしようという活動です。ご家庭で取り組んでみたいと思うものすべてを選んでください。

- ア 家族みんなで同じ本を読んで話題にする
- イ 子どもから「読んで」と言われた本は読んであげる
- ウ 子どもから「読むから聞いて」と言われたときは聞いてあげる
- エ 子どもからすすめられた本は、親が読んでみる
- オ 本のテーマにかかわる話をする
- カ 料理本、工作本などを読み、一緒に作ってみる
- キ 家族で出かけた帰りに図書館や本屋などに寄る
- ク その他

問⑧-1 電子書籍（タブレットやスマホなどで読む本）はどれくらい読みますか。

あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 電子書籍は読んだことがない。
- イ 電子書籍は何回か読んだことがあるが、いつもは紙の本を読んでいる。
- ウ 電子書籍と紙の本は同じくらい読んでいる。
- エ 電子書籍のほうが紙の本よりも多く読んでいる。

問⑧-2 イ、ウ、エと答えた人に聞きます。

電子書籍を読むきっかけについて、あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 家族が読んでいたから。
- イ 友達や知り合いが読んでいたから。
- ウ 職場などで知り、興味を持ったから。
- エ インターネットで知り、興味を持ったから。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

読書アンケート (案)

このアンケートは、みなさんがいつもどのように本を読んでいるかをアンケートして、本に親しみ、読書の習慣を身につけることをみんなで考えるために行うものです。

注意：このアンケートでの「本」には、マンガや雑誌、電子書籍もふくみます。

問① あなたは本を読むのが好きですか。あてはまるもの1つを選んでください。

- | | |
|-------------|---------------|
| ア 好き | イ どちらかというとき好き |
| ウ あまり好きではない | エ 好きでない |

問②-1 家でどのくらい本を読みますか。あてはまるもの1つを選んでください。

- | | |
|-----------|------------|
| ア 毎日読む | イ ときどき読む |
| ウ あまり読まない | エ まったく読まない |

問②-2 ウ「あまり読まない」、エ「まったく読まない」と答えた人に聞きます。

その理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 勉強や塾、スポ少などでいそがしくて、本を読む時間がないから
- イ テレビを見たりゲームをしたりするので、本を読む時間がないから
- ウ 外で遊ぶので、本を読む時間がないから
- エ スマートフォンやタブレット端末などで遊ぶので、本を読む時間がないから
- オ 読みたい本が近くにないから
- カ 本を読みたいと思わないから
- キ どんな本を読んだらいいのかわからないから
- ク その他

問③ 家で平均して1か月に何冊くらい本を読みますか。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| ア 0冊 | イ 1冊～2冊 | ウ 3冊～4冊 | エ 5冊～6冊 | オ 7冊～8冊 |
| カ 9冊～10冊 | キ 11冊以上 | | | |

問④ 小学校に入る前や小学校低学年の頃、家族から本を読んでもらったことがありますか。

あてはまるもの1つを選んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| ア よく読んでもらった | イ ときどき読んでもらった |
| ウ あまり読んでもらわなかった | エ まったく読んでもらわなかった |

問⑤ 自分や家族が読んだ本の内容など、本に関係のあることで、家族とお話するときがありますか。あてはまるもの1つを選んでください。

- ア よくある イ ときどきある
ウ ほとんどない エ まったくない

問⑥-1 本のあるところ（学校図書室・市立図書館・本屋・店の本コーナーなど）をどのくらい利用していますか。あてはまるもの1つを選んでください。

- ア 1週間に1回以上利用する イ 1か月に1～2回利用する
ウ ほとんど利用しない（1年に1～5回くらい） エ まったく利用しない

問⑥-2 ウ「ほとんど利用しない」、エ「まったく利用しない」と答えた人に聞きます。その理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 読みたい本がないから イ 何を読んでいいかわからないから
ウ 新しい本がないから エ 本を借りるのがめんどうだから
オ 部活動や委員会で行く時間がないから カ 行きたい時間に図書室が開いてないから
キ だれも連れて行ってくれないから ク 本を読みたいと思わないから
ケ その他

問⑦ 本を借りる（買う）とき、何かを参考にして本を選んでいきますか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 学校や市立図書館からの「図書館だより」などを参考になっている
イ 学校図書室や市立図書館、本屋などのおすすめ本コーナーを参考になっている
ウ 雑誌、テレビ、本屋などの本のランキングを参考になっている
エ 学校図書室や市立図書館の本のランキングを参考になっている
オ 教科書で紹介されている本を参考になっている
カ 何も参考にしていない

問⑧-1 電子書籍（タブレットやスマホなどで読む本）はどれくらい読みますか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 電子書籍は読んだことがない。
イ 電子書籍は何回か読んだことがあるが、いつもは紙の本を読んでいる。
ウ 電子書籍と紙の本は同じくらい読んでいる。
エ 電子書籍のほうが紙の本よりも多く読んでいる。

問⑧-2 イ、ウ、エと答えた人に聞きます。

電子書籍を読むきっかけについて、あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 家族が読んでいたから。
- イ 友達や知り合いが読んでいたから。
- ウ 学校の授業などで興味を持ったから。
- エ インターネットで知り、興味を持ったから。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

問④-3 ウ「あまりしない（しなかった）」、エ「まったくしない（しなかった）」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 読み聞かせをする時間がないから
- イ 子どもが読み聞かせをせがまないから
- ウ どんな本を読み聞かせしたらいいかわからないから
- エ 読み聞かせをする本が家にないから
- オ 子どもはテレビやゲームの方が好きだから
- カ 子どもは外で遊ぶのが好きだから
- キ 子どもは勉強や習い事で忙しいから
- ク ほかの家族（祖父母や年長の子）が読み聞かせをしてくれるから
- ケ その他

問⑤ 読み聞かせした本や、自分や子どもが読んだ本の内容など本に関係のあることで、家族でお話をするときがありますか。あてはまるもの1つを選んでください。

- ア 1週間に1回以上ある
- イ 1か月に1～2回ある
- ウ ほとんどない（1年に1～5回くらい）
- エ まったくない

問⑥ 子どもの成長にとって読書が大切だといわれています。ご家庭でどのようなことに気を配っていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 本の読み聞かせをする
- イ 子どもが本を読んだら誉める
- ウ 子どもが読んだ本を話題にする
- エ 図書館や本屋などに連れて行く
- オ おはなし会や読み聞かせに連れて行く
- カ 自分が読書をする姿を見せる
- キ 家に本をそろえる（プレゼントする）
- ク 家庭で読書の時間をつくる
- ケ 特になにもしていない
- コ その他

問⑦ 家読（うちどく）は、読書をきっかけに家族のコミュニケーションを大切にしようという活動です。ご家庭で取り組んでみたいと思うものすべてを選んでください。

- ア 家族みんなで同じ本を読んで話題にする
- イ 子どもから「読んで」と言われた本は読んであげる
- ウ 子どもから「読むから聞いて」と言われたときは聞いてあげる
- エ 子どもからすすめられた本は、親が読んでみる
- オ 本のテーマにかかわる話をする
- カ 料理本、工作本などを読み、一緒に作ってみる
- キ 家族で出かけた帰りに図書館や本屋などに寄る
- ク その他

問⑧-1 電子書籍（タブレットやスマホなどで読む本）はどれくらい読みますか。

あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 電子書籍は読んだことがない。
- イ 電子書籍は何回か読んだことがあるが、いつもは紙の本を読んでいる。
- ウ 電子書籍と紙の本は同じくらい読んでいる。
- エ 電子書籍のほうが紙の本よりも多く読んでいる。

問⑧-2 イ、ウ、エと答えた人に聞きます。

電子書籍を読むきっかけについて、あてはまるものすべてを選んでください。

- ア 家族が読んでいたから。
- イ 友達や知り合いが読んでいたから。
- ウ 職場などで知り、興味を持ったから。
- エ インターネットで知り、興味を持ったから。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。